

4 2016 年度予算の主な事業

(1) 新5ヵ年計画における主な取り組み

将来を担う人が育つまちをつくる

子ども・子育て支援新制度 108 億 4,088 万円 (21 ページ)

幼児期の教育や保育、地域の様々な子育て支援の量の拡充や質の向上を進め、保育所の待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にします。

待機児童解消対策事業 6 億 4,825 万円 (22 ページ)

民間保育所や認定こども園の整備の支援等により定員増を図ります。

子どもクラブ整備事業 1,714 万円 (23 ページ)

町田第三中学校区に子どもクラブを整備するため、設計を行います。

学童保育クラブ整備事業 1 億 9,092 万円 (24 ページ)

三輪小学校及び小山田南小学校区の学童保育クラブを移設することにより、遠距離学童保育クラブを解消します。

鶴川第一小学校改築事業 2 億 4,946 万円 (25 ページ)

鶴川第一小学校の給食棟改築工事及び旧校舎棟等解体工事(1年度目)を実施します。

町田第一中学校改築事業 8,460 万円 (26 ページ)

学校施設の老朽化対策等のため、町田第一中学校の改築に向けた設計をします。

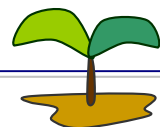
中学校施設防音事業 5 億 1,119 万円 (27 ページ)

航空機騒音による影響を防止・軽減するため、南中学校の防音工事を実施します。

小・中学校屋内環境整備事業 7 億 3,305 万円 (28 ページ)

小学校4校・中学校2校のトイレ改修工事を実施します。

中学校特別教室への空調設備の設置に向けた設計を行います。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

安心して生活できるまちをつくる

緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 1 億 7,939 万円 (30 ページ)

「緊急輸送道路」の沿道建築物の耐震化を促進します。

住宅耐震促進事業 7,191 万円 (31 ページ)

木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援し、住宅の耐震化を促進します。

汚水管渠地震対策事業（下水道事業会計） 4 億 5,000 万円 (32 ページ)

汚水管の耐震化、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。

雨水管渠整備事業（下水道事業会計） 12 億 2,300 万円 (33 ページ)

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。

防災行政無線デジタル化事業 3 億 8,773 万円 (34 ページ)

既存の防災行政無線を順次デジタル化するとともに子局の増設などを行い、防災行政無線の再構築を進めます。

成瀬コミュニティセンター建替事業 4 億 2,533 万円 (35 ページ)

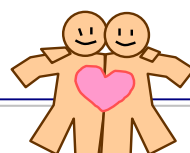
成瀬コミュニティセンターを建替・改修します。

玉川学園コミュニティセンター整備事業 1 億 990 万円 (36 ページ)

玉川学園コミュニティセンターのあり方を地域住民とともに検討し、建替えを進めます。また、駅から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上及び地域のバリアフリー化を図るため、ペDESTリアンデッキを整備します。

重度障がい者通所施設整備事業 8 億 9,954 万円 (38 ページ)

医療的ケアを必要とする重度障がい者が子どもから大人まで一貫して通所できる、多機能型施設を整備します。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

賑わいのあるまちをつくる

町田薬師池公園四季彩の杜整備事業 3億2,787万円 (39ページ)

薬師池公園四季彩の杜を整備するための用地取得等を進めます。

中心市街地整備事業 2,077万円 (40ページ)

中心市街地重点検討地区の整備検討をするとともに、土地利用制度の導入を検討します。

高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業 3,503万円 (41ページ)

国指定史跡である高ヶ坂縄文時代遺跡のうち、牢場・稻荷山遺跡の遺跡公園整備工事をを行います。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

キャンプ地招致・文化プログラム推進事業 1,326万円 (42ページ)

町田の魅力を市の内外に発信するとともに、多くの市民が国際レベルのスポーツ競技に触れることで、市内の活性化を図ります。

野津田公園スポーツの森整備事業 4億2,770万円 (44ページ)

第二次野津田公園整備基本計画に基づき、用地取得等を進めます。

小野路球場夜間照明施設整備事業 6億9,730万円 (45ページ)

スポーツを「する」機会と「観る」機会を提供するために、夜間照明を整備します。

にぎわい空間創出推進事業（町田シバヒロ） 4,426万円 (46ページ)

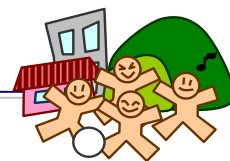
市庁舎跡地を芝生広場として活用し、イベント開催や一般開放をすることで、新たなにぎわいの創出を図ります。

地域学校開放推進事業 387万円 (47ページ)

地域スポーツクラブの拠点となるクラブハウスを整備するため、設計をします。

シティプロモーション事業 3,658万円 (48ページ)

市の魅力を明確化し、市内外に戦略的かつ継続的に情報を発信する「『まちだ自慢』推進計画」を実行します。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

暮らしやすいまちをつくる

南町田駅周辺地区拠点整備事業 5億1,500万円 (49ページ)

南町田駅周辺の土地区画整理事業を実施するとともに、自由通路の設計をします。また、南町田駅北口の広場築造工事をします。

循環型施設整備事業 2億6,611万円 (52ページ)

循環型社会の形成に向け、熱回収施設等の整備を進めます。

都市計画道路整備事業 7億9,907万円 (54ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、都市計画道路を整備します。

忠生 579 号線・忠生 630 号線新設改良事業 6,047万円 (56ページ)

円滑な通行のため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

多摩都市モノレール延伸促進事業 4,244万円 (57ページ)

多摩都市モノレールの延伸事業実施に向けた必要な調査を実施します。また、導入空間の確保に向けて、測量等を行います。

小田急多摩線延伸促進事業 1,000万円 (58ページ)

小田急多摩線の延伸事業実施に向けた必要な調査を相模原市と共同で実施します。

相原駅周辺街づくり事業 637万円 (59ページ)

相原駅西口・東口の土地利用について検討します。

鶴川駅周辺街づくり事業 1,373万円 (60ページ)

鶴川駅前広場や周辺の土地利用など具体的な整備内容の検討を進めます。

団地再生推進事業 292万円 (61ページ)

団地再生の方針検討をするとともに、団地再生推進の取り組みを実施します。

北部丘陵整備事業 3,417万円 (62ページ)

里山環境の維持保全により、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。

地球温暖化防止対策事業 1,167万円 (64ページ)

燃料電池自動車の購入、水素ステーションの誘致検討などを行います。太陽光発電システム等自然エネルギー利用機器等の設置補助を行います。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

(2) その他の取り組み（計画外 新規・拡充事業）

（仮称）戦没者合同慰霊塔会館整備事業 **600 万円** （65 ページ）

戦争の悲惨さ、平和の尊さを将来に伝えるために、戦没者合同慰霊塔の近くに（仮称）戦没者合同慰霊塔会館の設計を行います。

出産・子育てしっかりサポート事業 **7,690 万円** （66 ページ）

妊娠期の支援体制を強化し、就学期までの切れ目ないサポートを実現します。

臨時福祉給付金等支給事業 **4 億 9,735 万円** （67 ページ）

消費税増税に伴う低所得者の負担緩和等を目的として、臨時福祉給付金を支給します。
また、低所得の障害・遺族基礎年金等受給者向けに給付金を支給します。

外国人観光客等受入推進事業 **300 万円** （68 ページ）

町田市に多くの外国人観光客を誘客するための受け入れ環境を整えます。

公共施設等マネジメント事業 **1,036 万円** （69 ページ）

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を実施するための実行計画を策定します。

境川クリーンセンター改修事業 **2 億 1,567 万円** （70 ページ）

旧施設の解体に伴い、境川クリーンセンターを改修します。

多摩境駅エレベーター設置事業 **8,100 万円** （72 ページ）

バリアフリー基本構想に基づき、多摩境駅にエレベーターを整備します。

小山田周辺まちづくり事業 **540 万円** （73 ページ）

鉄道延伸計画に伴う新駅構想等を踏まえ、小山田周辺まちづくり整備方針策定に向けた検討をします。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名		子ども・子育て支援新制度				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,840,884		3,197,227	2,128,247	0	1,720,144	3,795,266
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要 312・343～345・347・350～353・355・362 ページ				
幼児期の教育や保育、地域の子育て支援の充実を進めていくため、「子ども・子育て支援新制度」が 2015 年 4 月から全国の市町村で開始されました。						
2016 年度においても、「町田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育・保育施設を計画的に整備し、施設の運営及び施設利用者への支援を拡充していきます。あわせて、地域における子ども・子育て支援事業も拡充します。						
【対象となる施設・事業】						
子ども・子育て支援給付		地域子ども・子育て支援事業(13 事業)				
○施設型給付 ・認定こども園 ・幼稚園 ・保育所 ○地域型保育給付 ・小規模保育(利用定員 6 人以上 19 人以下) ・家庭的保育(利用定員 5 人以下)		・利用者支援事業(コンシェルジュ) ・子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業) ・養育支援訪問事業 ・ショートステイ・トワイライトステイ(子育て短期支援事業) ・ファミリーサポートセンター事業(子育て援助活動支援事業) ・一時預かり事業 ・延長保育事業(時間外保育事業) ・病児・病後児保育(病児保育事業) ・学童保育クラブ事業(放課後児童健全育成事業) 他				
【主な事業の内容】						
■子ども・子育て支援給付 ・支援の質を向上するため、保育士等のキャリアアップに向けた取り組みをする事業者への支援を行い、保育人材の確保や育成、定着を図ります。 ・保育・教育施設の適切な運営を補助し、支援の充実につなげます。						
■地域子ども・子育て支援事業 ・利用者支援事業として、市庁舎窓口コンシェルジュ 2 名を配置しています。2016 年度からは各地域子育て相談センターでも保育のサービス等の情報提供を行います。 ・病児・病後児保育事業は、病児保育施設 1 か所、病後児保育施設 4 か所で実施しています。また、病児保育については八王子市と広域連携を行っています。 ・地域子育て支援拠点事業(マイ保育園事業・地域子育て相談センター事業)を推進し、事業内容の充実を図り、子育て中の親の負担や不安を軽減します。						
【主な事業費】						
施設型給付費(民間保育所・公定価格) 7,157,180 千円 施設型給付費(認定こども園・公定価格) 1,069,117 千円 施設型給付費(幼稚園・公定価格) 369,274 千円 学童保育クラブ管理運営委託料 1,086,229 千円						
【主な特定財源】						
児童保育費負担金(国 1/2) 2,333,642 千円 児童保育費負担金(都 1/4) 1,166,821 千円						
問い合わせ先	子ども生活部 子ども総務課長 三橋			電話	724-2876	

件 名		待機児童解消対策事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
648,246		320,408	159,540	55,400	0	112,898
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 353 ページ		
町田市では子ども・子育て支援法に基づき「町田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、待機児童や多様な保育・教育ニーズに対応するため、20 年間期間限定認可保育所新設を含めた施設整備を進めています。 2016 年度は合計 254 人の定員増を目指して、①20 年間期間限定認可保育所を含む民間保育所の整備支援、②認定こども園の整備支援などを行います。						
【主な事業の内容・事業費・特定財源】						
①民間保育所の整備支援 505,256 千円						
(主な特定財源 国補助金 224,697 千円 都補助金 149,327 千円)						
・20 年間期間限定認可保育所への賃借料補助…169,000 千円(20 園合計)						
事業内容		定員	定員増	開所予定	事業費(千円)	
20年間期間限定認可保育所整備費補助 ((仮)かりん保育園)・堺地域		100人×1園	100人	2016年10月 ※2015～2016年度 債務負担行為事業	30,000	
20年間期間限定認可保育所整備費補助 (低年齢児型)・南地域		39人×1園	39人	2017年4月	13,125	
小規模保育所整備費補助・町田地域		18人×1園	18人	2017年4月	21,342	
既存保育所増改築整備費補助 (小山保育園)・堺地域		120人→140人	20人	2017年4月 ※2015～2016年度 債務負担行為事業	246,506	
既存保育所増改築整備費補助 (成瀬くりの家保育園)・南地域		89人→100人	11人	2016年10月 ※2015～2016年度 債務負担行為事業	15,283	
合 計			188人		326,256	
②認定こども園の整備支援 142,990 千円						
(主な特定財源 国補助金 95,711 千円 都補助金 10,213 千円)						
事業内容		定員	定員増	開所予定	事業費(千円)	
認定こども園への整備費補助 (保育所部分)・鶴川地域		33人×1園	33人	2017年4月 ※2015～2016年度 債務負担行為事業	69,475	
認定こども園への整備費補助 (保育所部分)・南地域		33人×1園	33人	2018年4月 ※2016～2017年度 債務負担行為事業	73,515	
合 計			66人		142,990	
①・②の取り組みによる定員増:254 人						
問い合わせ先	子ども生活部 子育て推進課長 田中			電話	724-4468	

件 名		子どもクラブ整備事業																					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																	
17,139		0	0	0	0	17,139																	
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 361 ページ																			
「町田市子どもセンター基本構想」に基づき進めてきた市内 5 地区への子どもセンター整備については、2016 年 4 月の「子どもセンターまあち」(中町)の開館をもって完了します。 一方で、居住地によっては、「小学生の足では子どもセンターまで距離がある」といったアクセス上の課題があります。 その解決を図るために、「子どもの居場所の配置に関する基本構想」に基づいて、子どもセンターを補完する子どもクラブ(小型児童館)の整備を進めます。整備にあたっては、利用主体である子どもたちの意見を反映します。 2016 年度は町田第三中学校区の区域内に設置する子どもクラブの実施設計を行います。																							
【事業の内容】																							
整備予定地		木曽東 1 丁目 373-11、465-2、468-9 付近																					
想定規模		400 m ² 程度																					
利用対象		0 歳から 18 歳までの児童およびその保護者																					
主要施設		多目的ホール、乳幼児コーナー																					
開館時間		10:00～18:00																					
休館日		日曜日、祝日、1 月 1 日～4 日、12 月 28 日～31 日																					
【整備スケジュール】																							
2016年度												2017年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
子ども委員会・地元組織との検討																							
実施設計						起工			建設工事						開館								
【事業費】																							
実施設計委託料		13,062 千円																					
敷地測量委託料		624 千円																					
地質測量委託料		3,453 千円																					
問い合わせ先		子ども生活部 児童青少年課長 小田島										電話		724-4097									

件 名		学童保育クラブ整備事業										
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
190,921		10,475	88,507	66,800	0	25,139						
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 362 ページ								
町田市の学童保育クラブの整備は、2010 年 4 月に 1 小学校区 1 学童保育クラブの整備を完了した後、学童保育クラブに通所する児童の安全を確保するため、遠距離学童保育クラブの解消に取り組んできました。												
2016 年度、三輪小学校区及び小山田南小学校区の学童保育クラブの学校内への整備が完了することにより、遠距離学童保育クラブは解消します。												
【事業の内容】												
小学校から遠距離にある三輪小学校区及び小山田南小学校区の学童保育クラブを小学校敷地内へ移設します。												
小学校から学童保育クラブまでの距離		三輪小学校区		小山田南小学校区								
		約 615m		約 520m								
事業名称		事業実施場所		面積		規模						
三輪小学校区学童保育クラブ整備事業		三輪町 330-1		延床面積：300 m ² 程度 育成室面積：150 m ² 程度		90 人						
小山田南小学校区学童保育クラブ整備事業		小山田桜台 2-7		延床面積：200 m ² 程度 育成室面積：165 m ² 程度		100 人						
【事業スケジュール】												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
三輪				学童保育クラブ新築工事								
小山田南	実施設計					学童保育クラブ移設改修工事						
【主な事業費】												
三輪小学校区学童保育クラブ新築工事費		138,821 千円										
三輪小学校区学童保育クラブ工事監理委託料		5,661 千円										
小山田南小学校区学童保育クラブ移設改修工事費		28,847 千円										
小山田南小学校区学童保育クラブ工事監理委託料		2,530 千円										
【主な特定財源】												
子ども・子育て支援交付金(国 1/3)		2,333 千円										
子ども・子育て支援整備交付金(国 1/3)		8,142 千円										
子ども家庭支援包括事業補助金(都 1/2)		59,794 千円										
学童保育クラブ整備費補助金(都 1/2)		12,213 千円										
問い合わせ先	子ども生活部 児童青少年課長 小田島			電話	724-2182							

件 名		鶴川第一小学校改築事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
249,461		58,710	12,000	159,100	0	19,651

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要556 ページ

本事業は、鶴川第一小学校の①老朽化の解消、②学習環境向上のため 2014 年度に着工した改築事業の 3 年目です。2015 年度に校舎及びプール棟改築工事が完了し、2016 年 4 月からは先行して完成する新校舎で授業を始めます。

【事業の内容】

2016 年度は給食棟改築工事及び旧校舎棟等解体工事（2016～2017 年度債務負担行為事業）に着手します。

＜給食棟概要＞

延床面積 568.19 m² RC 造 2F

（特徴 1）ドライシステムの採用

細菌・かび等が増殖しにくい環境が保たれます。また、床が濡れていないため、すべりにくく安全です。

（特徴 2）アレルギー対応調理スペース

近年アレルギーをもつ児童が増加しており、食物アレルギー対応できる調理スペースを設置します。

＜鶴川第一小学校改築事業 工事スケジュール＞

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
体育倉庫等整備					
校舎及びプール棟改築工事					
		給食棟改築工事及び 旧校舎棟等解体工事			
			体育館棟改築工事		
					運動場整備 旧体育館解体工事

【事業費】

給食棟改築工事及び旧校舎棟等解体工事監理委託料10,980 千円

（2016～2017 年度債務負担行為事業 総事業費 27,450 千円）

給食棟改築工事及び旧校舎棟等解体工事236,600 千円

（2016～2017 年度債務負担行為事業 総事業費 591,500 千円）

地下水調査委託料1,881 千円

【特定財源】

学校施設環境改善交付金(国 1/3)58,710 千円

市町村総合交付金(都)12,000 千円

学校教育施設等整備事業債159,100 千円



問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波	電話	724-2174
--------	---------------	----	----------



件 名		町田第一中学校改築事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
84,597		0	0	0	0	84,597

【事業の背景・目的】

町田第一中学校は建築後 53 年経過しており、老朽化による学習環境の悪化を解消するため、改築を実施します。

新校舎は、太陽光発電設備など再生可能エネルギーの利用や断熱性能を高めることにより、ランニングコストの低減を図るとともに、環境負荷の軽減を図ります。また、教育内容・教育方法等の変化に対応できるよう高機能かつ多機能な学習環境を確保するとともに、将来の社会的変化に対応できるようフレキシブルな空間構成を持つ弾力的な施設とし、地域にとって最も身近な公共施設として有効に活用できるような施設を目指します。

【事業の内容】

2016 年度は、2013 年度に策定した基本計画をもとに、基本設計を行います。（体育館・プール棟は 1992 年築のため、校舎棟のみ改築）

〔校舎棟予定規模〕

延床面積 約 11,000 m² RC 造 3F(一部 4F)

普通教室 31(普通学級 24 特別支援学級 7)・特別教室 14・武道場 1・管理諸室等

〔現 況〕

延床面積 7,288 m² RC 造 3F(一部 4F)

普通教室 26(普通学級 22 室 特別支援学級 4)・特別教室 14・管理諸室等

【事業費】

基本設計委託料 84,597 千円



<完成予想図>

問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波	電話	724-2174
--------	---------------	----	----------

件 名		中学校施設防音事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
511,192		351,511	1,404	98,500	0	59,777
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 557 ページ		
防衛施設周辺の航空機騒音による影響を防止・軽減するため、防音工事を行い、教育環境の改善を図っています。2006 年 1 月に厚木基地住宅防音対象区域の見直しがされ、防音対象区域内の学校は 15 校（小学校 10 校、中学校 5 校）となりました。2015 年度末までに 11 校（小学校 8 校、中学校 3 校）の防音工事が完了しました。						
【事業の内容】						
2016 年度は南中学校防音工事の 2 年目（2015～2016 年度債務負担事業）を実施します。						
・防音工事の主な内容						
① 防音サッシへの取替え						
② 防音仕様の空調機への取替え・新設及びそれに伴う天井改修						
③ サッシ廻りの外壁改修						
防音工事を行うことで、室内の遮音性が向上し、航空機騒音による影響を防止・軽減することができ、教育環境の改善が図られます。また、防音工事にあわせて、トイレ改修及び外壁改修工事も実施します。						
【主な事業費】						
工事請負費 412,687 千円						
工事監理委託料 17,037 千円						
仮設校舎借上料 78,468 千円						
（2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 878,987 千円）						
【特定財源】						
防衛周辺防音事業費補助金（国 10/10） 348,703 千円						
学校施設環境改善交付金（非構造部材落下防止 国 1/3） 2,808 千円						
学校施設非構造部材耐震化支援事業費補助金（非構造部材落下防止 都 1/6） 1,404 千円						
学校教育施設等整備事業債 98,500 千円						
問い合わせ先		学校教育部 施設課長 岸波			電話	724-2174

件 名	小・中学校屋内環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
733,052		224,531	59,000	362,900	0	86,621

トイレ改修事業

Ⅱ 部別予算概要 556・557 ページ

【事業の背景・目的】

教育環境を向上させるために、和式便器から洋式便器への取替え、臭気の改善等明るく清潔で使いやすいトイレ環境とすることが必要です。トイレを改修することで、児童・生徒の学校生活に密接に関わりのあるトイレが明るく、安心できる空間となります。また、配管等が改修されるため臭気が解消され、教育環境の向上につながります。

【事業の内容】

和式便器を洋式便器に取り替え、ブースの床、壁、天井や照明器具を全面改修することで、使いやすく、明るい、安心できるトイレ環境を整備します。

また、省エネに配慮した節水便器・感知式照明・泡沫水洗等に設備を変更し、エネルギー使用量の削減を図ります。

○トイレ改修工事 小学校 4 校(町田第四小学校、本町田東小学校、つくし野小学校、成瀬中央小学校)
中学校 2 校(金井中学校、堺中学校)

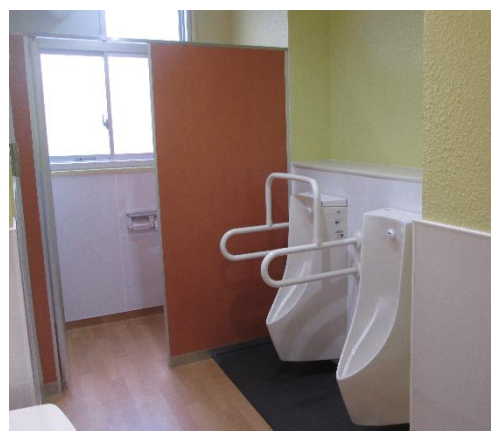
○トイレ改修設計 小学校 3 校(町田第一小学校、南第三小学校、小山田南小学校)
中学校 4 校(南大谷中学校、成瀬台中学校、南成瀬中学校、木曽中学校)

【事業費】

トイレ改修設計委託料	34,344 千円
トイレ改修工事費	654,120 千円
トイレ改修工事監理委託料	19,478 千円

【特定財源】

学校施設環境改善交付金(国 1/3)	224,531 千円
市町村総合交付金(都)	59,000 千円
学校教育施設等整備事業債	353,500 千円



改修事例：鶴川第四小学校トイレ(2015 年度工事)

○空調設備設置事業（特別教室）

【事業の背景・目的】

平均気温の上昇等により、夏場の教室内が高温になるなど、室内環境が悪く、授業や児童・生徒の健康への影響が懸念されていたことから、教育環境の改善を図るため、普通教室については、2011 年度から 2012 年度の 2 年間で全校に空調設備を設置しました。特別教室については、すでに、音楽室、図書室、パソコン室への空調設備設置は完了していますが、そのほかの特別教室（理科室、家庭科室等）についても、2018 年度までに全校に空調設備を設置し、教育環境の改善を図ります。

【事業の内容】

2016 年度は中学校の特別教室の空調設備設置に向けた設計を行います。

<スケジュール>

2016 年度	2017 年度	2018 年度
中学校設計	中学校工事／小学校設計	小学校工事

【事業費】

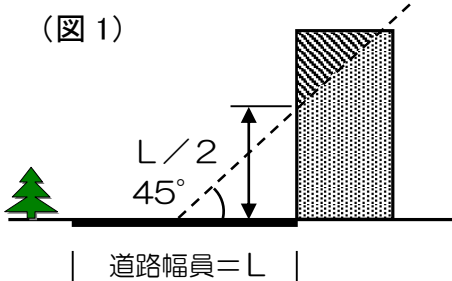
特別教室空調設備設置設計委託料（中学校 93 室分） 25,110 千円

【特定財源】

学校教育施設等整備事業債 9,400 千円



問い合わせ先	学校教育部 施設課長 岸波	電話	724-2174
--------	---------------	----	----------

件 名		緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
179,390		72,582	71,148	0	0	35,660
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 482 ページ		
大規模地震の発生時に、建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、避難や救助活動、物資の輸送が行えるように「緊急輸送道路」※ ₁ 沿道の建築物の耐震化を推進するため、耐震化に要する費用の一部を補助します。						
特に「特定緊急輸送道路」※ ₂ 沿道建築物については、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」において対象となる物件の耐震診断実施が義務化されており、重点的に耐震化を進めます。						
※ ₁ 緊急輸送道路： 防災上重要な幹線道路で東京都が指定した道路						
※ ₂ 特定緊急輸送道路(耐震診断義務化路線)： 緊急輸送道路のうち、町田街道や鎌倉街道など、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路						
【事業の内容】						
○所有者・管理者等に対し、パンフレットの配布や電話及び訪問等により、耐震化の重要性について説明し、耐震改修工事の実施を促します。						
○所有者・管理者等に対し、耐震診断・設計・改修について申請に基づき補助事業を実施します。						
項目	耐震診断	耐震設計	耐震改修			
対象となる建築物	下記の条件に全て該当する建築物 ・敷地が緊急輸送道路に接している建築物 ・1981 年 5 月 31 日以前に着工された建築物 ・道路幅員のおおむね 1/2 以上の高さである建築物(図 1)					
助成対象費用の限度額	2,060 円/㎡	5,000 円/㎡	50,300 円/㎡			
緊急輸送道路※ ₁ 助成率	4/5	2/3	2/3			
特定緊急輸送道路※ ₂ 助成率	10/10	5/6 (※10/10)	5/6 (※9/10)			
限度額、助成率については代表的なものを記載しています。						
・特定緊急輸送道路助成率について、町田市からの補助の他、国からの直接補助を受けた場合、(※)の助成率となります。						
【事業費】				(図 1)		
緊急輸送道路沿道建築物耐震促進助成金 179,390 千円						
[内訳] 耐震診断 3,609 千円 耐震設計 11,828 千円						
耐震改修 163,953 千円(小川 ほか)						
【特定財源】						
防災・安全交付金(国 2/5)				72,582 千円		
耐震改修費補助金(都 2/5)				71,148 千円		
問い合わせ先	都市づくり部 住宅課長 池ノ内			電話	724-4269	

件 名		住宅耐震促進事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
71,911		29,637	11,450	0	0	30,824

【事業の背景・目的】

町田市では、大規模地震発生による住宅の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化を新 5 ヶ年計画における重点事業として位置付け、木造住宅の耐震診断や耐震設計および工事の支援、分譲マンションの耐震診断の支援などの事業により耐震化を推進しています。

【事業の内容】

○本制度による診断、助成の対象となる建物は、市内にあり、1981 年 5 月 31 日以前に着工し、自らが居住している木造住宅、分譲マンションです。

○簡易耐震診断(木造住宅)は、無料で受けることができます。

○耐震診断(木造住宅は精密耐震診断)、地震に対して安全な構造とするための耐震設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置に対し、それぞれに要した経費の一部を市が助成します。

○各地域で耐震相談会等を実施し、耐震化の必要性和助成制度の周知など、普及啓発を行っています。

※その他、木造住宅耐震アドバイザー派遣事業、分譲マンション耐震アドバイザー助成事業があります。

項 目	内 容	予定件数
木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣	200 件
木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の 1／2	10 万円上限 40 件
木造住宅耐震設計助成事業		10 万円上限 30 件
木造住宅耐震改修工事助成事業		50 万円上限 20 件
木造住宅耐震シェルター等設置助成事業		20 万円上限 5 件
分譲マンション耐震診断助成	経費の 2／3	1 件

※高齢者世帯の耐震改修工事・耐震シェルターは、上限額に上乗せがあります。

【事業費】

住宅耐震促進委託料17,102 千円
(市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー)

住宅耐震促進助成金54,809 千円
(木造精密診断、木造耐震設計、木造改修工事、
マンション耐震診断助成)

【特定財源】

防災・安全交付金(国 1/2)29,637 千円

住宅費補助金(都 1/4)11,450 千円



問い合わせ先	都市づくり部 住宅課長 池ノ内	電話	724-4269
--------	-----------------	----	----------



件 名	汚水管渠地震対策事業（下水道事業会計）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
450,000		108,000	5,400	286,600	0	50,000

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要

503 ページ

大規模地震の発生が懸念される中、污水管渠の耐震化と多くの避難者が集まる避難施設での衛生的な生活環境の確保が求められています。

そこで、管渠の耐震化工事を進めるとともに、避難施設にマンホールトイレシステムを整備し、被災時の市民の衛生的な生活環境を確保します。

【事業の内容】

① 汚水幹線の耐震化

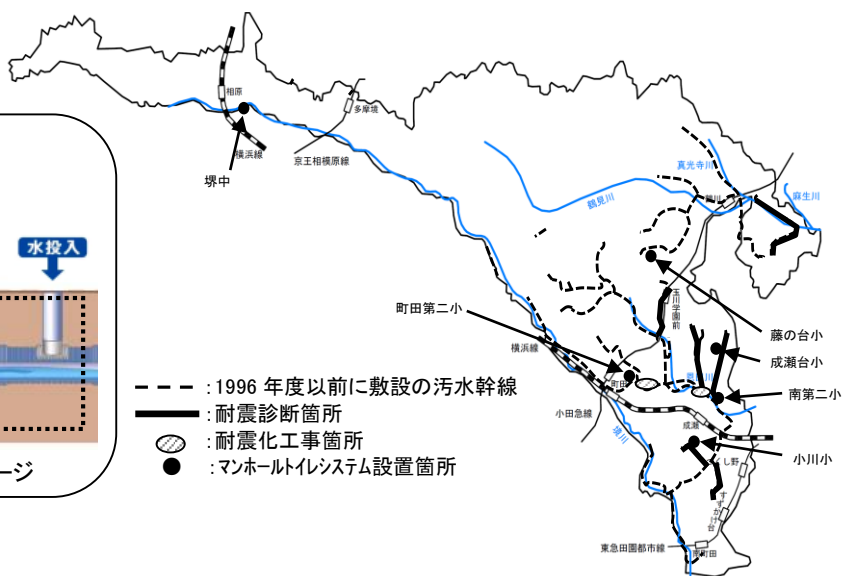
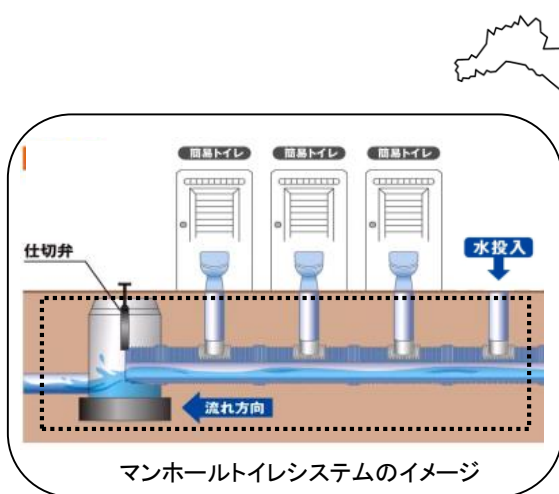
1996 年度以前に敷設した汚水幹線を随時診断し、耐震基準を満たしていない箇所の耐震化を行います。

2016 年度はこれまでの耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない町田汚水幹線の一部の耐震化を行います。あわせて玉川学園、原町田、高ヶ坂ほか汚水幹線の耐震診断を行います。

② マンホールトイレシステムの設置

避難施設の小学校 6 校(成瀬台小学校、小川小学校、町田第二小学校、堺中学校、南第二小学校、藤の台小学校)にマンホールトイレシステムを設置します。

※ 1 施設あたり 10 基のマンホールトイレを設置します。



【事業費】

汚水幹線耐震診断委託料	50,000 千円
実施設計委託料(耐震化、マンホールトイレ)	30,000 千円
汚水幹線耐震化工事費	280,000 千円
マンホールトイレシステム設置工事費	90,000 千円

【特定財源】

防災・安全交付金(国)	108,000 千円
下水道費補助金(都)	5,400 千円
下水道事業債	286,600 千円

問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 野田	電話	724-4296
--------	-----------------	----	----------

件 名		雨水管渠整備事業（下水道事業会計）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,223,000		192,000	9,600	936,400	0	85,000

【事業の背景・目的】

近年、多発している集中豪雨や大型台風による都市型の浸水被害が問題となっており、その対策が求められています。

そこで、過去の浸水被害箇所から対策が必要な地区について、雨水管の整備を行います。

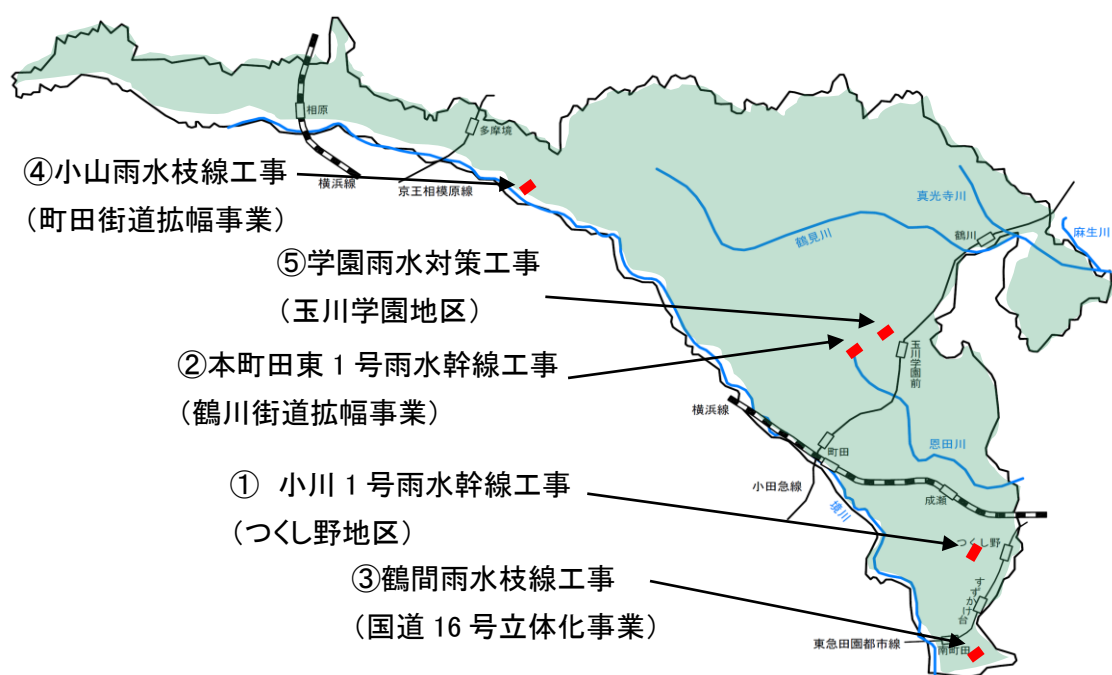
また、道路整備の事業にあわせた雨水管整備も行い、浸水被害の軽減を図ります。

Ⅱ 部別予算概要 503 ページ

【事業の内容】

- ① 小川 1 号雨水幹線工事（つくし野地区） 延長 628m
- ② 本町田東 1 号雨水幹線工事（道路関連工事） 延長 63m
- ③ 鶴間雨水枝線工事（道路関連工事） 延長 223m
- ④ 小山雨水枝線工事（道路関連工事） 延長 170m
- ⑤ 学園雨水対策工事（玉川学園地区） 延長 100m

合計 1,184m



④小山雨水枝線工事
(町田街道拡幅事業)

⑤学園雨水対策工事
(玉川学園地区)

②本町田東 1 号雨水幹線工事
(鶴川街道拡幅事業)

① 小川 1 号雨水幹線工事
(つくし野地区)

③鶴間雨水枝線工事
(国道 16 号立体化事業)

【事業費】

管渠等整備委託料	1,223,000 千円
----------	--------------

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国)	192,000 千円
下水道費補助金(都)	9,600 千円
下水道事業債	936,400 千円

問い合わせ先	下水道部 下水整備課長 野田	電話	724-4296
--------	----------------	----	----------

件 名		防災行政無線デジタル化事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
387,729		192,952	8,000	175,900	0	10,877

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要188 ページ

町田市の防災行政無線は、移動系が 1987 年度、固定系が 1991 年度に整備されたもので、機器の老朽化が進んでいます。また、現行のアナログ方式の防災行政無線から、早期にデジタル方式の防災行政無線へ早期に移行することが、国から求められています。

このため、2017 年度までに固定系・移動系の親局及び中継局の整備を進めています。子局や移動系無線についても、既存機器の有効活用を図りながら、劣化の状態により順次更新を行います。

防災行政無線のデジタル化の主なメリットとしては、以下の 3 点が挙げられます。

- ノイズが入りにくくなるため、通信品質が向上する。
- 同じ周波数帯において複数のチャンネルを設けられるため、親局から子局に向けての放送中でも、子局から親局へ情報伝達が可能となる。
- 通信の秘匿性が向上する。

【事業の内容】

既存の固定系無線局(244 局)・移動系無線局(191 台)を順次デジタル化するとともに、中継局や屋外拡声子局(96 局)の増設等により、無線難聴地帯を解消していきます。

		～2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
事業内容	固定系	2009 ～ 2012 年度 調査・設計	親局、中継局、屋外拡声子局 66 局		屋外拡声子局 55 局	屋外拡声子局 88 局、戸別受信機 2 台	屋外拡声子局 131 局、戸別受信機 177 台
	移動系			親局、中継局、移動系無線 191 台			

【事業費】

固定系屋外拡声子局 88 局及び
戸別受信機 2 台デジタル化更新・新設
工事監理委託料

380,244 千円
7,485 千円

【特定財源】

防衛施設周辺民生安定施設整備費補助金(国 3/4)
社会資本整備総合交付金(国)
市町村総合交付金(都)
消防施設整備事業債

23,122 千円
169,830 千円
8,000 千円
175,900 千円

防災行政無線デジタル化イメージ

移動系

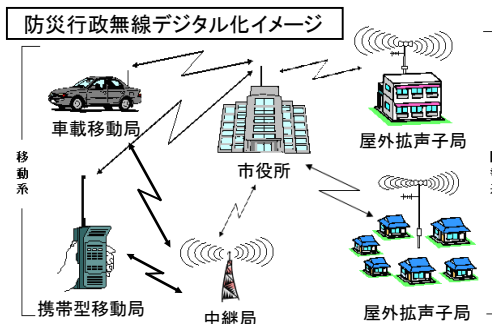
車載移動局
携帯型移動局

市役所
中継局

屋外拡声子局
屋外拡声子局

同報系

問い合わせ先	市民部 防災安全課長 篠崎	電話	724-3218
--------	---------------	----	----------



件 名

成瀬コミュニティセンター建替事業

予算額（単位:千円）

425,331

財源内訳

国庫支出金

0

都支出金

17,791

市債

383,500

その他

0

一般財源

24,040

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要

172 ページ

成瀬コミュニティセンターは 1970 年（昭和 45 年）に竣工した旧小学校校舎を利用しているため、バリアフリー対応が不十分であり、老朽化の進行や耐震性能不足等からも建替が強く求められていました。また、防災意識の高まりや環境配慮への要請を踏まえると同時に、地域における人々のつながりを高める場を確保することも必要となっています。以上のことから「誰もが安心して使いやすい」「明るく居心地の良い」施設を整備することを目的として成瀬コミュニティセンターを建替・改修しています。

2014 年度から始まった建替工事の 3 年目（最終年）となります。2016 年度は本体を中心とした 1 期工事と、太陽光発電設備、外構等の 2 期工事を完了し、2016 年 7 月にオープンします。

【事業の内容】

《所 在 地》町田市西成瀬二丁目 49 番 1

《規模・構造》鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 1,921 m²

《施設計画》

コミュニティ集会スペース（第1会議室・第2会議室・和室）

87 m²

多目的活動スペース（多目的室1～3・ホール・音楽室・工芸室・地域活動室）

773 m²

子育て・キッズ・文庫スペース（かえで文庫・キッズエリア・授乳室）

61 m²

交流・憩いのスペース（ロビー・展示スペース・フリースペース）

348 m²

その他（倉庫・事務室・印刷室・トイレ等）

652 m²

《事業スケジュール》

	2014 年度	2015 年度	2016 年度
1 期工事 (解体・本体)	12 月 [黒塗り]		6 月 7 月 オープン
2 期工事 (太陽光発電・外構)		11 月 [黒塗り]	6 月 7 月 オープン

【主な事業費】

工事請負費 408,214 千円

《内訳》 304,554 千円 第 1 期工事:解体・本体工事
(2014～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 760,893 千円)

103,660 千円 第 2 期工事:太陽光発電設備・外構工事
(2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 184,017 千円)

【特定財源】

市町村総合交付金(都) 17,000 千円

子ども家庭支援包括補助金(都 1/2) 791 千円

地域センター建替事業債 383,500 千円



完成イメージ

問い合わせ先

市民部 市民総務課長 宮崎

電話

724-4346

件 名		玉川学園コミュニティセンター整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
109,897		0	12,000	39,000	0	58,897

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要172・434 ページ

玉川学園コミュニティセンター（1974 年 7 月開設）は、地元住民を中心に文化活動の拠点として活発に利用されています。しかし、建築後 41 年を経過したことにより施設の老朽化が顕著となっていること、建物やアクセスがバリアフリーに対応できていないこと、そして狭隘により利用者の要請に応えられなくなっています。以上のことから「地域住民の活動拠点、広域的交流の拠点となる」「誰もが気軽に立ち寄れる、アクセスしやすい」施設を整備することを目的としてコミュニティセンターを建替えます。

また、玉川学園前駅から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上及び地域のバリアフリー化を図るため、ペDESTリアンデッキを整備します。

【事業の内容】

玉川学園コミュニティセンター建替のため、基本・実施設計と用地購入を行います。また、玉川学園前駅ペDESTリアンデッキの整備に向けて、設計・調査測量・駅舎接続協議協定等資料作成を行います。

《所在地》

玉川学園 2－19－12

《施設の現状》

構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上 3 階建

延床面積 595 ㎡

建 築 年 1974 年竣工・1991 年増築部竣工

諸 室 ホール（定員 100 人 89 ㎡） 第 1 会議室（定員 21 人 40 ㎡） 第 2 会議室（定員 16 人 26 ㎡） 第 3 会議室（定員 20 人 29 ㎡） 和室（保育室）（定員 14 人 17 ㎡ 10 畳）

いこいの間（定員 14 人 17 ㎡ 10 畳） 事務室及び児童図書室（86 ㎡） 管理室（11 ㎡）

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
建替	■基本計画 策定検討 ■基本・実 施設計	■基本・実施設計 ■用地購入	■解体・建築工事 （1 年目/3 ヲ年 工事）	■建築工事 （2 年目/3 ヲ年 工事）	■建築工事 （3 年目/ 3 ヲ年工事） ■施設オープ ン予定
デッキ整備	■駅舎接続 検討設計	■基本設計 ■詳細設計 ■調査測量委託	■デッキ整備工事 （1 年目/2 ヲ年 工事）	■デッキ整備工事 （2 年目/2 ヲ年 工事）	■利用開始

【主な事業費】

（建替）

設計委託料 24,742 千円（2015 年度～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 35,345 千円）

地質調査委託料 3,232 千円

用地購入費 52,000 千円

（デッキ整備）

基本設計負担金 13,500 千円

詳細設計委託料 10,800 千円 調査測量委託料 2,700 千円

駅舎接続協議協定等資料作成委託料 1,800 千円

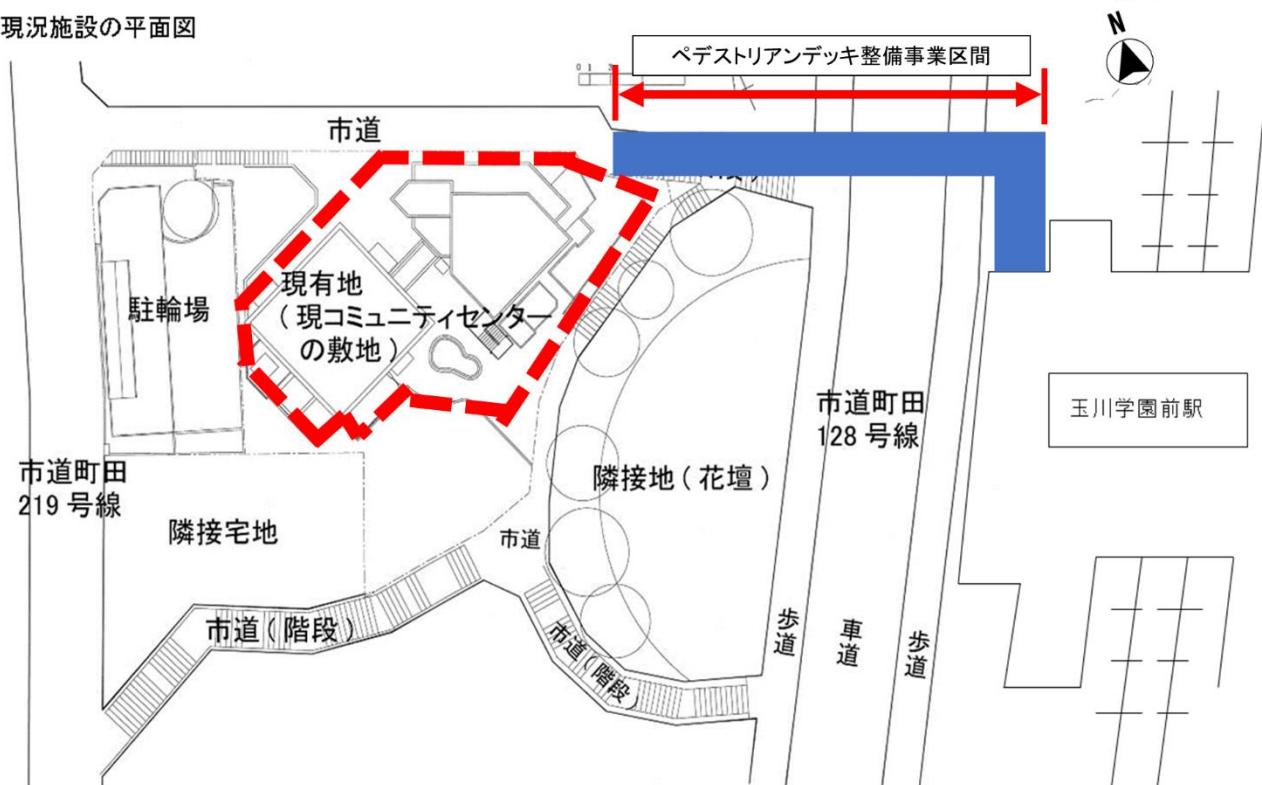
【主な特定財源】

市町村総合交付金(都) 12,000 千円

地域センター建替事業債 39,000 千円

玉川学園コミュニティセンター整備事業 案内図

現況施設の平面図



問い合わせ先

市民部 市民総務課長 宮崎
建設部 道路整備課長 大場

電話

724-4346
724-1122

件 名		重度障がい者通所施設整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
899,541		0	136,000	596,700	0	166,841
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 233 ページ		
医療的ケアを必要とする重度障がい者が子どもから大人まで一貫して通所でき、相談支援機能も併せ持ち、包括的な支援が可能となる多機能型施設の整備をすすめています。開所は 2017 年 1 月を予定しています。						
【事業の内容】						
「多機能型施設」を整備する事業者に対して、その整備費用を補助します。						
■「重度障がい者通所施設」施設整備費補助(2015～2016 年度 債務負担行為事業)						
(施設概要)						
運営主体	社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会					
構造	鉄骨造 2 階建					
面積	2,970.09 m ²					
建設予定地	図師町 191-1 他					
サービス種別	生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービス、相談支援事業					
定員※	110 人					
※定員(サービスごとの定員)						
成人対象:生活介護事業(医療的ケア対応可能)70 名、就労継続支援 B 型事業 30 名						
学齢対象:放課後等デイサービス事業 10 名						
【事業費】						
障がい者福祉施設整備費補助金 899,541 千円						
(2015～2016 年度 債務負担行為事業 総事業費 1,058,284 千円)						
【特定財源】						
市町村総合交付金(都)		136,000 千円				
障がい者福祉施設整備事業債		596,700 千円				
問い合わせ先		地域福祉部 障がい福祉課長 叶内			電話	724-2147

件 名		町田薬師池公園四季彩の杜整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
327,874		100,000	100,000	95,700	13,108	19,066
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 477 ページ		
町田薬師池公園四季彩の杜は町田市を代表する公園です。リス園、ぼたん園、えびね苑、ダリア園があり、その周辺には、自由民権資料館、七国山緑地保全地域等の観光施設や歴史的資産、豊かな自然環境が存在します。そこで、薬師池とその周辺施設を、より多くの方々に活用していただくことを目的として、2014 年 6 月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定いたしました。薬師池周辺を一つの公園として捉え、多くの人々が四季を通して楽しめる公園となる様に、地域の有する豊かな自然環境、歴史・文化等を維持するとともに、個々の施設がより魅力を高め、回遊性や、情報発信力を強化することで、町田を代表する観光の拠点にします。						
【事業の内容】						
○「町田薬師池公園四季彩の杜」の西園と北園の用地について、合わせて約 0.87haを取得します。						
西園	事業認可期間	2008 年度から 2018 年度まで(延伸予定)				
	事業規模	計画面積 9.0ha				
北園	事業認可期間	2011 年度から 2017 年度まで(延伸予定)				
	事業規模	計画面積 6.9ha				
○今後の整備に向けて、ゲートハウスの基本設計を行います。						
	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度		
西園	用地取得	整備工事				
ゲートハウス	基本設計	実施設計	整備工事			
北園	用地取得	実施設計	整備工事			
【事業費】						
用地購入						
西園(薬師池西公園)			224,692 千円			
北園(薬師池北緑地)			84,116 千円			
ゲートハウス基本設計業務委託			13,511 千円			
西園景観草花栽培管理業務委託			5,555 千円			
【特定財源】						
社会資本整備総合交付金(国 1/3)			100,000 千円			
都市計画費補助金(都 1/3)			100,000 千円			
緑地保全基金繰入金			13,108 千円			
都市計画事業債			95,700 千円			
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野			電話	724-4397	

件 名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
20,770		0	0	0	0	20,770

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 469・472 ページ

「まちだ未来づくりプラン」に掲げた「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」の実現に向けて、「交通結節点としてのターミナル機能の強化」、「新たな賑わいの創出」及び「誰もが快適に歩くことが出来るまちづくり」について検討を進めます。

町田市は、「中心市街地整備構想」を実現するため、2014 年度からまちづくりの“道しるべ”となる「（仮）中心市街地まちづくり計画」の策定検討を進めています。また 2015 年度には、町田市中心市街地活性化協議会と「町田市中心市街地のまちづくりに関する基本協定」を締結しました。

【事業の内容】

○「（仮）中心市街地まちづくり計画」の策定

検討委員会による検討を踏まえ、地元とともに、「（仮）中心市街地まちづくり計画」を策定します。

○重点検討地区の整備検討

（原町田一丁目地区）

地権者との協議を進め、拠点整備イメージの共有を図ります。また、自由通路の整備検証を行います。

（小田急町田駅周辺地区）

交通ターミナル機能、新たな集客機能の強化に向けて、整備手法等の検討を進めます。

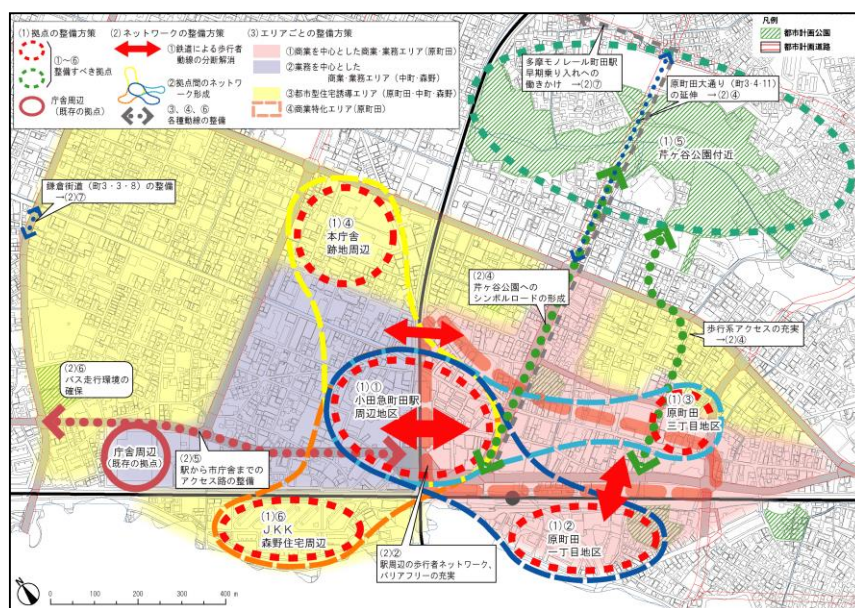
○中心市街地土地利用制度の導入

中心市街地におけるにぎわいの連続性やゆとりある歩行空間の確保のために必要となる土地利用制度の導入に向け、制度設計や地権者の合意形成などの検討を行います。

【主な事業費】

中心市街地整備検討委託料 15,300 千円

中心市街地土地利用制度導入委託料 5,000 千円



出典：「町田市中心市街地整備構想」（2014 年 3 月策定）

問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 平本 都市政策課長 神蔵	電話	724-4026 724-4248
--------	---------------------------------	----	----------------------

件 名	高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
35,028		17,263	8,631	5,700	0	3,434

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 592 ページ

高ヶ坂縄文時代遺跡は牢場・稲荷山・八幡平遺跡の 3 箇所からなる縄文時代の集落跡で、国内初の敷石住居跡発見（牢場遺跡）により、大正 15 年に国の史跡に指定されました。そのうち八幡平遺跡は史跡指定以来民有地でしたが、文化庁・東京都との協議の結果、史跡の保全・整備のために 2010 年度から公有地化を進めてきました。

本事業によって同史跡 3 地点を遺跡公園として整備するとともに、芹ヶ谷公園再整備基本計画を踏まえて芹ヶ谷公園内の八幡平遺跡隣接地にガイダンス施設を建設し、地域の歴史を学び感じる場として来訪者に公開していきます。



牢場遺跡（上屋の現況）



稲荷山遺跡（再調査時）



八幡平遺跡（再調査時）

【事業の内容】

- ① 牢場遺跡の上屋の建替えに伴い、牢場遺跡の確認調査を行います。
- ② 牢場遺跡の上屋の建替えを含む牢場・稲荷山遺跡公園の整備工事を行います。

＜事業スケジュール＞

整備対象	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
牢場遺跡公園	上屋建替え工事	開園		
稲荷山遺跡公園	公園整備	開園		
八幡平遺跡公園		公園整備		開園
ガイダンス施設 (2020 年度開館予定)		基本設計	実施設計・施設建設	展示内装工事

＜高ヶ坂縄文時代遺跡案内図＞



【主な事業費】

牢場遺跡発掘調査委託料	1,210 千円
牢場・稲荷山遺跡公園整備工事	30,463 千円
牢場・稲荷山遺跡公園整備工事監理業務委託料	2,052 千円

【特定財源】

国宝重要文化財等保存整備費補助金(国 1/2)	17,263 千円
東京都文化財保存事業費補助金(都 1/4)	8,631 千円
教育施設整備事業債	5,700 千円

問い合わせ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 小口	電話	724-2554
--------	-------------------	----	----------

件 名		2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 キャンプ地招致・文化プログラム推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,263		0	3,000	0	0	10,263

○キャンプ地招致

Ⅱ 部別予算概要 204・211 ページ

【事業の背景・目的】

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、国内において事前キャンプや開催期間中のキャンプが行われます。

町田市には、陸上競技場、総合体育館などの施設があり、これらを活用し、2020 年のキャンプ地等招致の実現を目指します。また、2019 年に開催されるラグビーワールドカップ 2019 のキャンプ地招致にも取り組んでいきます。

これらの活動を行うことで、町田市のブランド力の向上や観光振興・国際交流の機会となります。また、一流のアスリートの姿が間近で見られることで、子どもたちに夢を与え、市民のスポーツ文化の振興に繋がっていきます。

【事業の内容】

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会キャンプ地招致

- ・「町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議」の開催
- ・スポーツイベント開催時における 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会気運醸成活動
- ・競技団体等に対するキャンプ地招致 PR 及び交渉の実施

【主な事業費】

オリンピック・パラリンピック競技大会周知委託料 6,068 千円

【特定財源】

スポーツ振興等事業費補助金 3,000 千円

（都 普及啓発等事業 1/2、障害者スポーツ地域振興事業 4/5）



陸上競技場



総合体育館

○文化プログラム

【事業の背景・目的】

東京都は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における文化プログラムの実施を見据え、2015 年 3 月に東京文化ビジョンを策定し、史上最高の文化プログラムを実施することを掲げています。町田市においては、東京都と連携した取り組みを行うとともに、豊富な文化芸術資源を最大限に活かした町田市独自の文化プログラムを実施することで、有形・無形の取り組みや新たなネットワークなどをレガシーとして残り、文化芸術活動を発展的に進めます。

【事業の内容】

2016 年度は外部有識者や文化団体等から成る検討会を開催し、2020 年東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進計画を策定します。この計画に基づいて、実施に向けた準備を行っていきます

＜スケジュール＞

2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
		市制 60 周年	ラグビーワールド カップ 2019	2020 東京オリンピック・ パラリンピック競技大会
推進計画策定	一部実施	実施		

【主な事業費】

オリンピック・パラリンピック文化プログラム策定委託料	3,500 千円
委員謝礼	650 千円



市内文化イベント



市庁舎を活用したコンサート

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 能條 文化振興課長 唐澤	電話	724-4036 724-2184
--------	------------------------------------	----	----------------------

件 名		野津田公園スポーツの森整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
427,702		131,000	131,000	117,900	14,278	33,524
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 479 ページ		
「多くの市民が渴望している都市規模にふさわしいスポーツ施設を中心とした総合公園とする」ことを方針とした 1987 年の基本計画に基づき、段階的に野津田公園の整備・開園を進めてきましたが、公園利用・活動の多様化、健康意識の高まりから、「する」スポーツや「観る」スポーツをさらに充実させる等、多世代が魅力を感じる公園施設の整備が新たに求められています。スポーツ施設を中心とした総合公園として新たなニーズにも対応する「スポーツの森」の整備に向け、2014 年 5 月に第二次野津田公園整備基本計画を策定しました。多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が 85%を超え人気の高いテニスコートの整備を優先的に進めます。 町田市立陸上競技場の電光表示板は、1990 年 10 月の同競技場開場時より使用され、今年で 25 年を迎え、経年劣化が激しい状態です。旧来型の電光表示板しかないことから、大規模スポーツイベントの開催に欠かせない「カラー画像・動画の表示」「リプレイ映像の表示」などが出来ない状態です。大型映像装置を整備することにより、スポーツを「みる人」に対し試合の臨場感を高め、楽しい空間を演出することが可能になる等、スタジアム全体の一体感が増し、何度でも訪れたいと思うスタジアムにバリューアップします。						
【事業の内容】						
○公園拡張区域の整備						
用地取得を進めるとともに多目的グラウンド、テニスコートおよび公園入口付近の基本設計を行います。						
○陸上競技場の設備整備						
大型映像装置を整備するため、2016 年度は基本設計を行います。						
整備スケジュール	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度		
公園拡張区域整備	用地取得					
	基本設計	実施設計	整備工事			
大型映像装置整備	基本設計	実施設計 整備工事				
【主な事業費】						
公園拡張用地購入費	240,932 千円					
物件移転補償料	153,246 千円					
公園整備基本設計委託料	5,257 千円					
大型映像装置設計委託料	8,000 千円					
【特定財源】						
社会資本整備総合交付金(国 1/3)	131,000 千円					
都市計画費補助金(都 1/3)	131,000 千円					
緑地保全基金繰入金	14,278 千円					
都市計画事業債	117,900 千円					
						
				野津田公園スポーツの森 計画図		
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野			電話	724-4397	



野津田公園スポーツの森 計画図

件 名		小野路球場夜間照明施設整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
697,300		0	164,000	432,900	20,000	80,400
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 480 ページ		
2014 年 2 月に策定した「町田市スポーツ推進計画」において、「既存施設の利用時間の延長」を推進施策として掲げ、これに基づき「町田市スポーツ推進計画アクションプラン」に「夜間照明施設整備事業」を掲げています。 町田市のスポーツ施設は近隣の自治体と比較して充実しているとは言えない状況であり、市民が気軽に身近な場所でスポーツに親しめる環境の充実が求められています。 夜間照明を整備することで、主に日中に仕事をしている働き盛りの市民に、スポーツを「する」機会を提供します。 また、小野路球場は市内唯一の硬式対応の野球場であり、かつ観客席も整備されていることから、全国高等学校野球選手権大会西東京大会をはじめとした各種大会が開催されていますが、夜間照明を整備することで、より多くの大規模大会を誘致し、市民がスポーツを「観る」機会も充実させます。						
【事業の内容】						
夜間照明施設(LED) 6基を整備します。						
		2016 年度	2017 年度			
		照明施設整備工事	利用開始			
【事業費】						
小野路球場夜間照明施設整備工事費		691,200 千円				
工事監理委託料		6,100 千円				
【特定財源】						
スポーツ施設整備補助金(都)		100,000 千円				
市町村総合交付金(都)		64,000 千円				
スポーツ振興くじ助成金(toto)		20,000 千円				
都市計画事業債		432,900 千円				
						
小野路球場						
問い合わせ先	都市づくり部 公園緑地課長 萩野			電話	724-4397	

件 名	にぎわい空間創出推進事業（町田シバヒロ）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
44,263		0	0	0	0	44,263

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要

384 ページ

町田シバヒロは、「新たな賑わいの創出」を実現するため、芝生の広場としてオープンし今年で 3 年目を迎えます。この広場では、年間を通じてオクトーバーフェストやクリスマスイベントなどの多彩なイベントを開催するとともに、子ども達の遊びの場や幅広い世代の方々の憩いや交流の場として、多くの賑わいを生み出しています。

【事業の内容】

年間来場者 23 万人を目標に、ゴールデンウィークには、メディアと連携した大型グルメイベントを予定しています。また、音楽やスポーツなどのイベントを開催するほか、町田市で活動する各種団体の発表の場となるようなイベントも企画します。

＜主なイベントスケジュール＞

時期	主なイベント
3月～4月	最強ラーメン Fes !
4月～5月	芸能界グルメ王美食祭
10月	とっておきの音楽祭
10月	オクトーバーフェスト
10月	子ども向けイベント
11月	キラリ☆まちだ祭
11月～12月	クリスマスイベント
3月	子ども向けイベント







＜ステージイベントの様子＞

＜夏の平日の様子＞

＜クリスマスイベント点灯式の様子＞

【主な事業費】

イベント企画運営委託料	13,000 千円
にぎわい空間創出推進事業補助金	21,000 千円

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 杉本	電話	724-3296
--------	----------------------------------	----	----------

件 名	地域学校開放推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,870		0	0	0	0	3,870

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 210 ページ

学校の校庭や体育館等を市民開放する学校開放は、市民が身近で気軽にスポーツに親しむ、重要な場所となっています。そこで、更衣室やミーティングルーム、トイレ等で構成する施設（クラブハウス）を整備し、利用者の利便性を向上させることで、よりスポーツに親しめる環境を提供します。

2013 年度にクラブハウスを整備した武蔵岡中学校では、スポーツ教室の実施や地域のお祭り等で活用され、広く市民に利用されています。

自主的な地域活動団体（地域スポーツクラブ）の設立を支援し、その活動の拠点となるクラブハウス整備を進め、更なるスポーツ人口増加につなげていきます。

【事業の内容】

2016 年度に、金井・山崎エリアのクラブハウスの設計を行い、2017 年度に整備工事を実施します。

また、学校に整備するクラブハウスを拠点とした自主的なスポーツ運営組織（地域スポーツクラブ）の設立を推進し、地域のスポーツ人口増加を目指します。



＜教育センタークラブハウス＞



＜スポーツ教室の様子＞

【スケジュール】

クラブハウス整備実績およびスケジュール

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
クラブハウス	大戸エリア （武蔵岡中） 森野・中町エリア （町田第4小）	木曽・本町田エリア （教育センター）	南大谷・成瀬エリア （南大谷小） 忠生・小山田エリア （図師小既存施設）	金井・山崎エリア （設計）	金井・山崎エリア （施工） 小山エリア （設計） 鶴川エリア （学校改修）	小山エリア （施工）

【事業費】

クラブハウス設計委託料 3,870 千円

問い合わせ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 能條	電話	724-4036
--------	-----------------------	----	----------

件 名	シティプロモーション事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
36,581		0	0	0	0	36,581

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要

102 ページ

「市民が愛着を持って住み続けられるまち」、「魅力にあふれ、何度でも訪れたくなるまち」をつくるために市の魅力を明確化し、市内外に効果的かつ戦略的に情報を発信する「『まちだ自慢』推進計画」を実行します。

また、現在の推進計画は、2014 年度から 2016 年度の 3 年間で短期目標を達成するための計画となっており、中期目標・長期目標達成に向けた、2017 年度以降の新たな計画を策定します。

【事業の内容】

継続的・戦略的な『まちだ自慢』推進計画を着実に実施することにより、「市民が『誇り』を持ち、市外の人々が『憧れる』まち」、「多くの人に『選ばれる』まち」を実現します。

また、2016 年度は市の魅力に関心を持ち、訪れたいための取り組みに加え、子育て世代をメインターゲットとした情報発信活動を行い、住みたい街として選ばれるための取り組みを行います。

推進戦略 1 と 2 を中心に以下の事業を実施します。

○推進戦略 1: 市民が主役になる仕組みをつくる

『まちだ自慢』活動を推進するため市民参加ミーティングを開催し、『まちだ自慢』活動案の話し合いや、次期計画内容への意見収集などを行います。

○推進戦略 2: 情報発信・魅力創造を強化する

2016 年度は子育てをメインテーマとして、「住みたい街」「訪れたい街」となることを目標に、交通広告の実施や、子育て情報誌への情報掲載などのPR活動を行います。あわせて、TVや雑誌、インターネットなどのメディアへのPR活動を行います。

【主な事業費】

シティプロモーション事業推進・推進計画策定委託料

34,726 千円

シティプロモーション推進委員会委員謝礼

483 千円

問い合わせ先

政策経営部 広報課長 石田

電話

724-2101

件 名	南町田駅周辺地区拠点整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
515,000		21,427	67,714	155,900	0	269,959

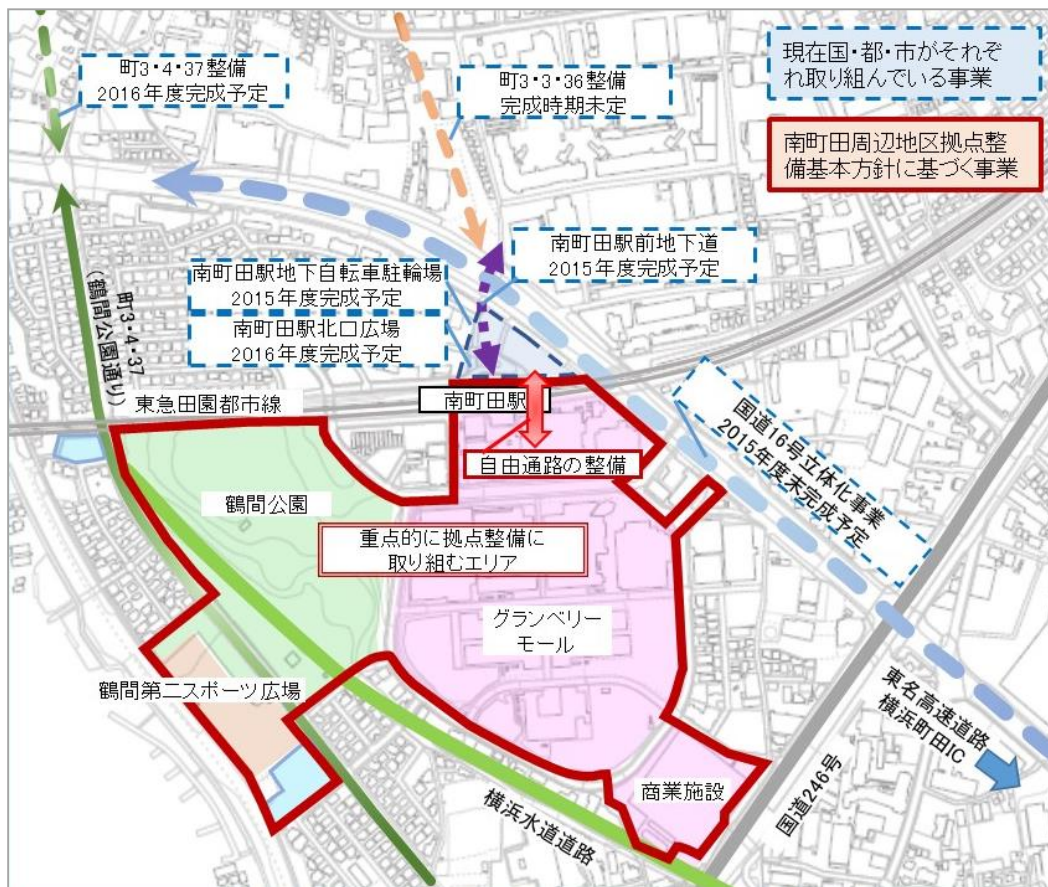
【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要

440・454・469 ページ

南町田駅周辺地区は、都市計画マスタープランにおいて、にぎわいと交流の拠点として、「副次核」に位置づけています。また、駅周辺では、国道 16 号町田立体事業、北口駅前広場及び地下通路の整備が進むなど、大幅な交通環境の改善が図られてきています。

町田市では、副次核のさらなる魅力と利便性の向上に取り組むため、2015 年 6 月に「南町田駅周辺地区拠点整備基本方針」を策定しました。本方針で示す地区の将来像実現に向けて、東急電鉄とパートナーシップを構築しながら、協働して取組を進めていきます。



事業名	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
南町田駅周辺地区 拠点整備事業	拠点整備基本 方針の策定 土地区画整理 事業計画策定	都市計画手続 土地区画整理 事業認可 事業施行				オープン
南町田駅南北自由 通路整備事業	基本設計	詳細設計	整備工事			利用開始
南町田駅北口広場 築造事業	管理工事	街築工事	利用開始			

○南町田駅周辺地区拠点整備事業

【事業の内容】

○土地区画整理事業計画の策定・施行

- ・鶴間公園、商業モール用地、鶴間第二スポーツ広場を中心に、公共施設の再配置と土地の利用増進等を図るため、土地区画整理事業計画を策定するとともに、基盤整備事業に着手します。

○鶴間公園官民連携整備運営事業

- ・鶴間公園について、民間のノウハウを活用した魅力的な公園づくりをめざし、公園の再整備及び運営への官民連携手法の導入を進めます。

○拠点整備実施計画事業

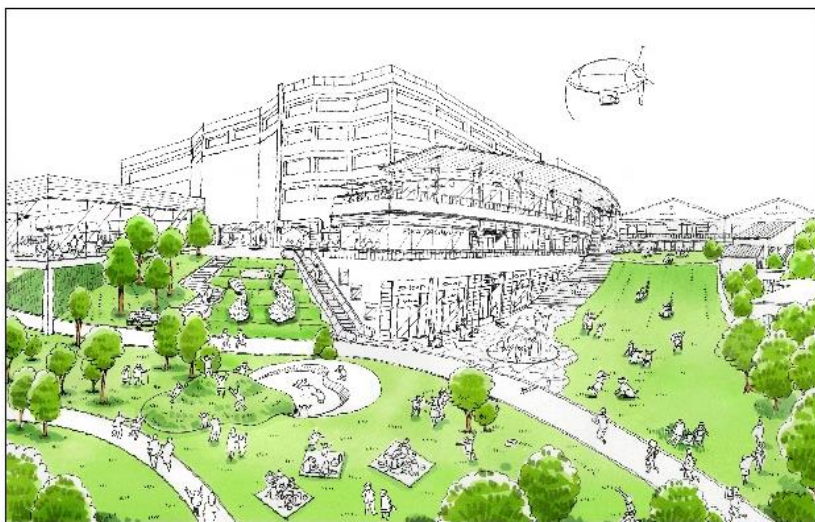
- ・拠点整備に向けて、都市計画の決定及び変更等の手続きを進めます。

【主な事業費】

南町田駅周辺地区土地区画整理事業計画策定負担金	33,100 千円
(2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 48,535 千円)	
南町田駅周辺地区土地区画整理事業施行負担金	96,820 千円
(2016～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 2,318,444 千円)	
南町田駅周辺地区拠点整備実施計画策定事業負担金	7,560 千円
鶴間公園官民連携整備運営手法導入支援委託料	25,175 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2)	21,427 千円
都市再生区画整理事業補助金(都 1/4)	10,714 千円
都市計画事業債	21,900 千円



「公園・商業の融合ゾーン」のイメージ
(鶴間公園さわやか広場から商業施設を望む)

○南町田駅南北自由通路整備事業

【事業の内容】

2015 年度に実施した基本設計を踏まえ、自由通路の詳細な構造を決定するための設計を実施します。

自由通路の規模 延長 49.5m 幅員 8.7m

【事業費】

南北自由通路詳細設計負担金 90,180 千円
(2015～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 101,925 千円)

○南町田駅北口広場整備事業

【事業の内容】

国が実施している国道 16 号線横浜町田立体事業に併せて駅前広場を新設し、国道 16 号線に接続する都計道 3・4・37 号線の一部を整備することで、新たなバス路線を設け、周辺地域の利便性の向上を図ります。

2016 年度に築造工事を完了し、2017 年度に利用を開始します。

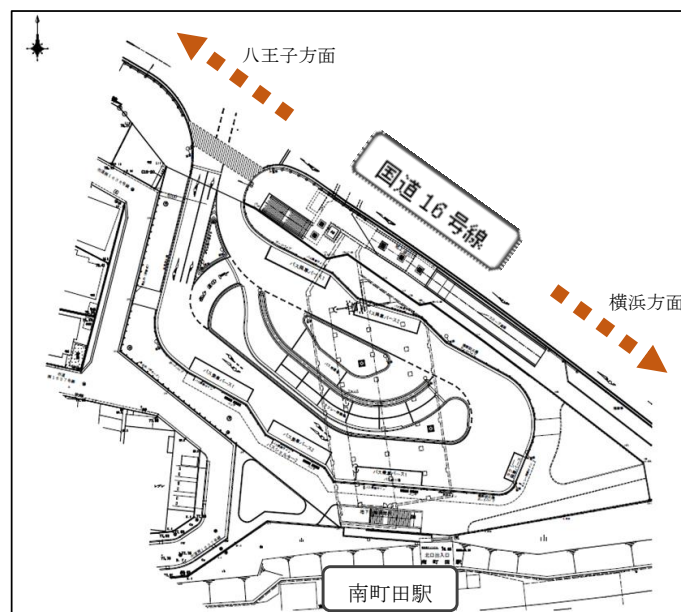
【主な事業費】

道路築造工事費 220,000 千円

【特定財源】

都市計画費補助金(都 1/2) 35,000 千円
市町村総合交付金(都) 22,000 千円
都市計画事業債 134,000 千円

南町田駅北口広場 計画図



問い合わせ先	都市づくり部 都市政策課長 神蔵	電話	724-4248
	建設部 建設総務課長 遠藤		724-1124
	建設部 道路整備課長 大場		724-1125

件 名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
266,107		20,948	0	0	3,482	241,677

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 405 ページ

町田市では、ごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標としています。そのため、生ごみ処理機で 3 千トン进行堆肥化するとともに、新たなごみの資源化施設の整備を進めています。これにより「燃やせるごみ」のうち生ごみ 1 万 8 千トン进行バイオガス化、「プラスチックごみ」は容器包装リサイクル法に基づく資源化を行い、ごみを減量し、資源化率を積極的に向上させることを目指しています。

新たなごみの資源化施設のうち、熱回収施設等は町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設は市内 3 箇所に分散して整備します。



【整備する施設の概要】

○熱回収施設等

《場所》

町田リサイクル文化センター敷地内（下小山田町 3160 番地）

《施設概要》

- ・可燃ごみ焼却施設 → 258t/日（2 炉×129t/日）ストーカ炉 高効率発電（17%以上）
- ・生ごみ等バイオガス化施設 → 50t/日 機械選別、高温・乾式
- ・不燃・粗大ごみ処理施設 → 47t/日

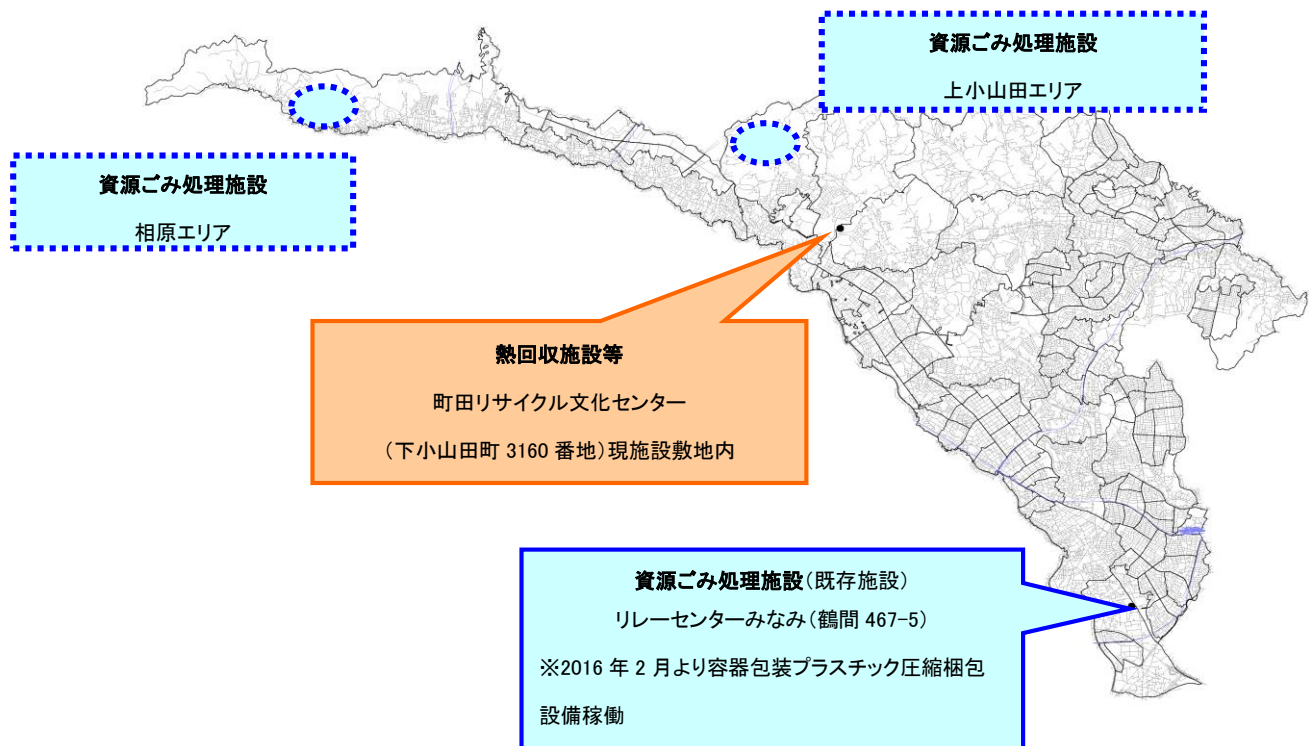
○資源ごみ処理施設

《場所》

- ・相原町（相原エリア） → 以下の①～⑧
- ・上小山田町（上小山田エリア） → 以下の①～⑧
- ・鶴間（リレーセンターみなみ） 以下の①のみで、2016 年 2 月から稼動

《施設概要（3 箇所合計）》

- ①プラスチック圧縮梱包施設 26.4t/日 [リレーセンターみなみ（約 5t/日）を含む。]
- ②カン選別処理施設 6.4t/日
- ③ビン選別処理施設 18.8t/日
- ④ペットボトル圧縮梱包施設 5.8t/日
- ⑤トレイ・紙パック貯留場所
- ⑥有害ごみ（乾電池・蛍光灯等）貯留場所
- ⑦製品プラスチック貯留場所
- ⑧使用済小型電子機器等貯留



【事業の内容】

- ・熱回収施設等は、公設民営(DBO)方式※で2016年度に事業者を選定します。

※公設民営(DBO)方式→公共が資金調達し、設計・建設及び管理運営までを一括で事業者が発注する方式。(PFI法に準じる)

- ・資源ごみ処理施設は、公設公営方式で行います。2016年度は生活環境影響調査や都市計画関連手続き、発注仕様書の作成を行います。

【主な事業費】

○熱回収施設等

環境影響評価委託料 15,984 千円(2013～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 158,976 千円)

都市計画資料作成委託料 2,498 千円

事業者選定支援委託料 18,792 千円(2014～2016 年度債務負担行為事業 総事業費 43,200 千円)

設計施工監理委託料 7,919 千円(2016～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 246,363 千円)

整備運営費 0 千円(2016～2040 年度債務負担行為事業 総事業費 47,096,106 千円)

○資源ごみ処理施設

生活環境影響調査委託料 ・相原エリア 10,664 千円 ・上小山田エリア 10,664 千円

都市計画資料作成委託料 ・相原エリア 5,793 千円 ・上小山田エリア 3,869 千円

事業者選定支援委託料 ・相原エリア 25,369 千円 ・上小山田エリア 27,411 千円

○その他

基本計画策定委託料(仮称・大戸広場、仮称・蓮田(下小山田町)再整備) 21,832 千円

仮設管理棟建物借上料 5,238 千円(2016～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 298,519 千円)

【特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国) 20,948 千円

廃棄物減量再資源化等推進整備基金 3,482 千円

問い合わせ先	環境資源部 循環型施設整備課長 守田	電話	724-4384
--------	--------------------	----	----------

件 名	都市計画道路整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
799,066		62,865	120,817	362,800	47,340	205,244

Ⅱ 部別予算概要 446～455 ページ

町田市管内図



（都市計画道路の整備）

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

（駅前広場の整備）

地域の交通拠点としての機能向上を図るため、南町田駅の駅前広場の整備を進めます。

重点事業名	箇所番号	個別事業名	事業費(千円)	備考
都市計画道路の整備	①	都計道3・4・37(鶴間) 【鶴間公園通り】	189,310	国道16号、南町田駅へのアクセス道路、2016年度完了予定
	②	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	86,445	相模原市へのアクセス道路 2019年度完了予定
	③	都計道3・4・34(金森) 【金森住宅通り】	126,804	町田街道から藤沢街道へのアクセス道路、2018年度完了予定
	④	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 【環状1号線小田急立体交差】	20,790	町田駅・中心市街地を迂回し、市の南北を結ぶ環状線
	⑤	都計道3・4・9(成瀬) 【成瀬けやき道路】	4,104	成瀬三ツ又から都計道3・4・34(南大谷)に接道するまでの区間
	⑥	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	12,339	小野神社出入り口から北西に向かい、(仮称)都計道3・4・20号線に接道するまでの区間
	⑦	(仮称)都計道3・4・20(下小山田) 【多摩都市モノレール延伸促進】	25,568	多摩都市モノレール導入空間の確保に向けて必要な調査を実施
都道整備の協力	⑧	都計道3・4・38(木曽東) 【町田街道】	95,680	都との協働事業 2019年度完了予定
駅前広場の整備	⑨	南町田駅北口広場	226,165	2017年度利用開始予定

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金(国)	62,865 千円
都市計画費補助金(都)	80,717 千円
街路整備事業債	362,800 千円
東京都受託収入	47,340 千円

問い合わせ先	建設部 道路整備課長 大場	電話	724-1122
--------	---------------	----	----------

件 名	忠生 579 号線・忠生 630 号線新設改良事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
60,468		0	0	0	0	60,468

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 435 ページ

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

【事業の内容】

○忠生 579 号線

北部丘陵地域である小山田地区の地域生活環境の向上を図るとともに、地域まちづくりのための骨格道路を整備することにより交通の円滑化を図ります。

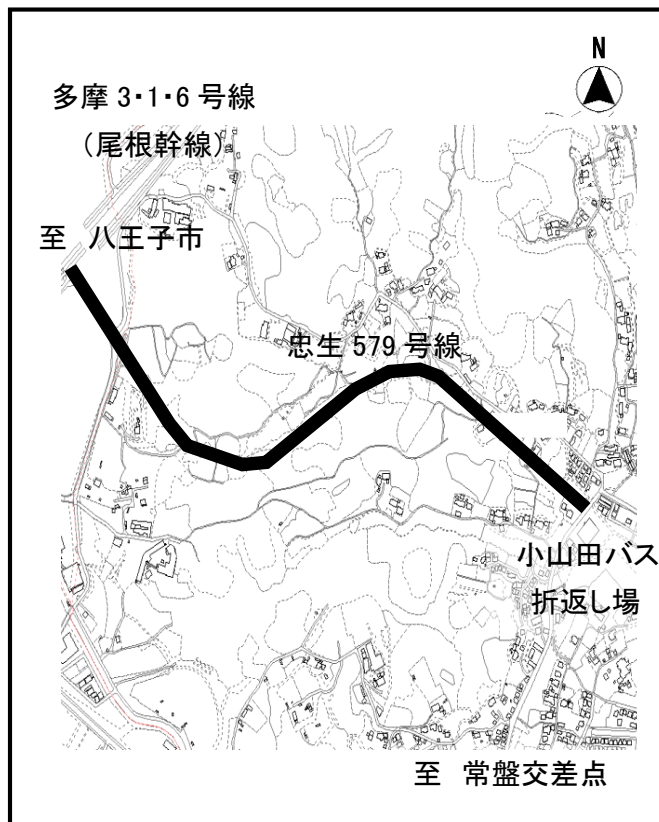
○忠生 630 号線

多摩市と町田市を結ぶ路線です。町田市側都道の整備が進む中、周辺の土地利用により宅地化が進み交通量が増加しているため、本路線の整備により交通の円滑化を図ります。

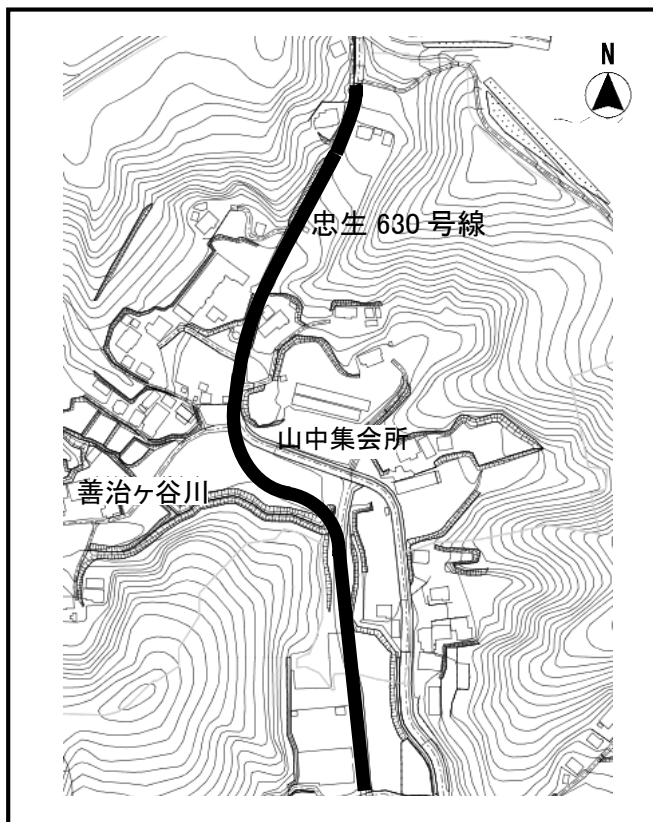
【主な事業費】

・詳細設計委託料 11,488 千円 ・調査測量委託料 23,819 千円 ・地質調査委託料 3,082 千円

忠生 579 号線 計画図



忠生 630 号線 計画図



問い合わせ先

建設部 道路整備課長 大場

電話

724-1122

件 名	多摩都市モノレール延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
42,437		0	0	0	0	42,437

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 453・474 ページ

町田市と多摩地域の他都市を結ぶ公共交通網は希薄な状況であり、密接であるべき多摩地域の自治体との連携を強化する必要があります。市内においては、鉄道駅は全て外縁部に位置しており、誰もが移動し易くするためには、新たな公共交通システムの構築が喫緊の課題となっています。

多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅への延伸は、これら町田市の課題を解決するだけでなく、多摩地域における交通ネットワークを格段に充実させ、地域全体の発展に大きく寄与します。

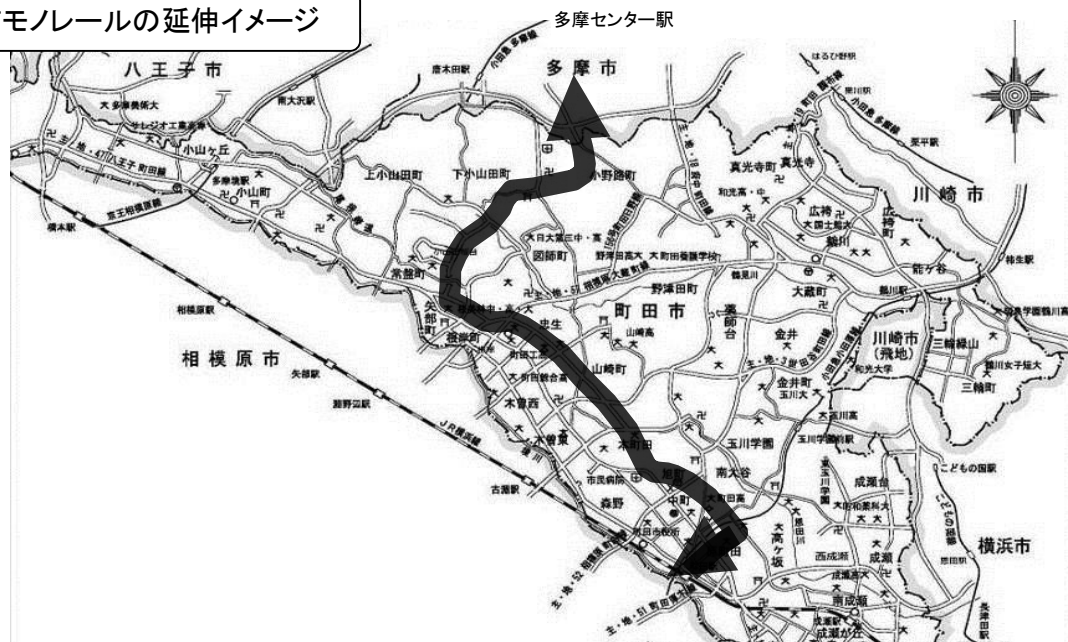
本延伸線は、国の諮問機関である運輸政策審議会（現称：交通政策審議会）による 2000 年の答申において、「今後整備について検討すべき路線」に位置づけられています。現在、同審議会でこの位置づけの見直しを行っており、2016 年に新たな答申が出される予定です。

【事業の内容】

新たな答申において、整備が推進されるような位置づけがされることを想定して、答申後早期に、関係自治体、事業者等の関係者による、延伸事業実施に関する合意形成を図るために必要な調査を実施します。

また、多摩都市モノレール導入空間の確保に向けて、測量及び環境調査を実施します。

多摩都市モノレールの延伸イメージ



【主な事業費】

多摩都市モノレール延伸調査委託料	4,500 千円
測量委託料	32,118 千円
環境調査委託料	5,789 千円

問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡	電話	724-4260
	建設部 道路整備課長 大場		724-1122

件 名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	0	0	0	10,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 474 ページ

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸は、首都圏西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

本延伸線は、国の諮問機関である運輸政策審議会（現称：交通政策審議会）による 2000 年の答申において、「今後整備について検討すべき路線」に位置づけられています。現在、同審議会でのこの位置づけの見直しを行っており、2016 年に新たな答申が出される予定です。

2014 年 5 月には、町田市、相模原市の両市長間で、「小田急多摩線延伸の推進に関する覚書」を交わし、2027 年までの延伸線開業を目指した取り組みを進めることについて合意しました。

【事業の内容】

新たな答申において、整備が推進されるような位置づけがされることを想定して、答申後早期に、関係自治体、事業者等の関係者による、延伸事業実施に関する合意形成を図るために必要な調査を相模原市と共同で実施します。

小田急多摩線の延伸イメージ



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 10,000 千円

問い合わせ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡	電話	724-4260
--------	--------------------	----	----------

件 名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6,367		0	0	0	0	6,367

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 472 ページ

相原駅周辺の街づくりは、2014 年 12 月に策定した「相原駅西口地区まちづくり構想」を踏まえ、2015 年 4 月に「相原駅西口地区地区計画」の決定及び用途地域等の変更を行いました。

また、駅東口については、東京都により進められているJR横浜線と町田街道の立体交差化事業（アンダーパス）に合わせて、新たな道路ネットワークと土地利用の検討を進めています。

生活中心地としてのさらなる魅力づくりを目的として、地域の顔となる駅前づくりを市民協働により促進します。

【事業の内容】

○駅西口の街づくり

西口駅前広場及び都市計画道路の整備完了に合わせて、駅周辺の新たな土地利用を市民協働により検討し、駅前にふさわしい生活中心地としての機能及び市民生活の利便向上を図ります。

○駅東口の街づくり

町田街道の立体交差化により、相原駅入口交差点が無くなることから、駅東口と町田街道を繋ぐ新たなアクセス路を整備するとともに、沿道の有効な土地利用を検討します。

【主な事業費】

街づくり支援委託料 6,344 千円

《相原駅周辺街づくり検討対象範囲》



問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 平本	電話	724-4266
--------	--------------------	----	----------

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,732		0	0	0	0	13,732

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 472 ページ

町田市は、鶴川駅北口広場の再編や南口市街地整備など駅周辺の整備検討を地権者と共に進めています。2015 年度は、道路計画の基本的な考え方を基に、事業実施に向けて小田急電鉄及び南口地権者との基本的な合意が得られました。

本事業により、駅を中心とした街の新たな顔づくりと、副次核としてのさらなる魅力づくりを進めます。

【事業の内容】

○鶴川駅周辺整備基本方針の策定

交通拠点としてのターミナル機能の充実、南北連絡性の向上、駅前住環境の整備など、副次核に位置づけた鶴川駅周辺の整備基本方針を南口地権者、小田急電鉄、地元自治会・町内会及び商店会の意見を踏まえ策定します。

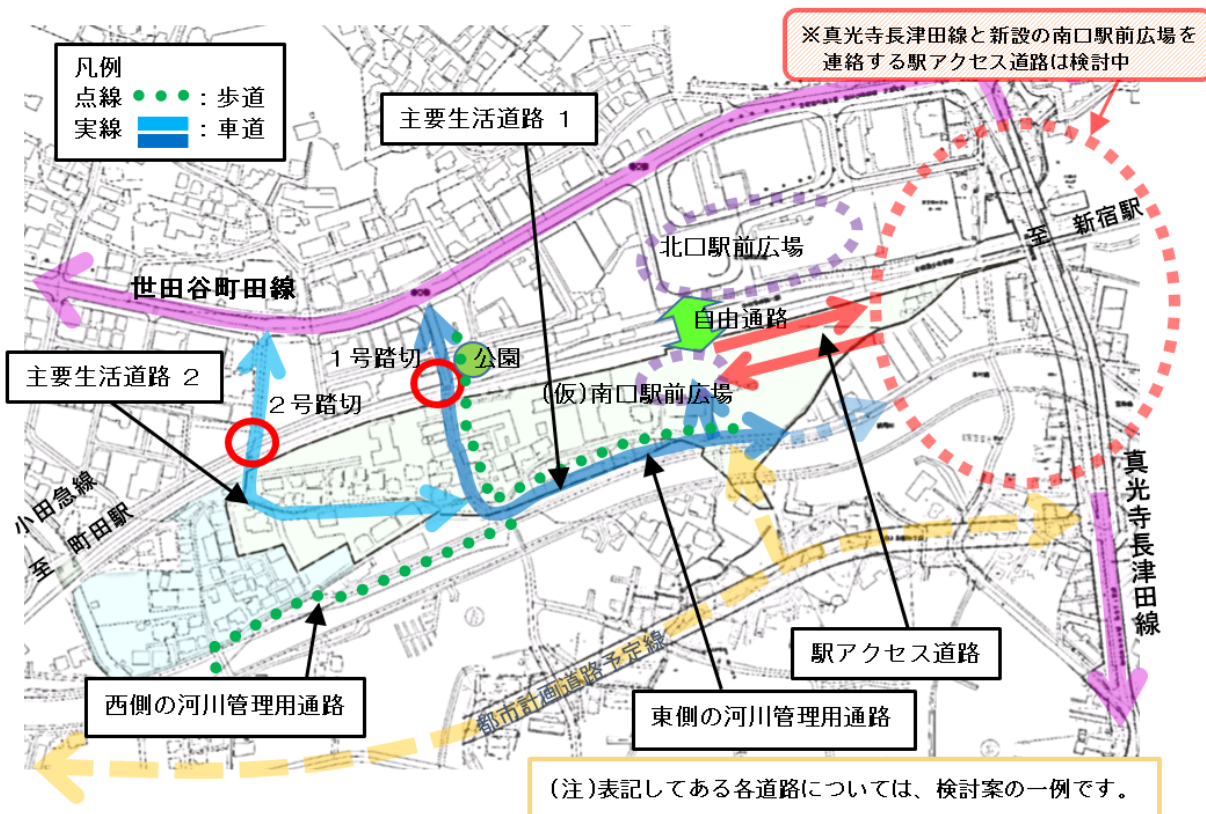
○鶴川駅南口市街地整備計画の策定

土地区画整理事業等の事業実施に向け、地権者と共に南口市街地整備計画を取りまとめます。また、駅アクセス道路について、引き続き川崎市や関係機関との協議を進めます。

【主な事業費】

鶴川駅周辺街づくり検討委託料 13,268 千円

《道路の基本的な考え方》



問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 平本	電話	724-4266
--------	--------------------	----	----------

件 名		団地再生推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,916		0	0	0	0	2,916

【事業の背景・目的】	Ⅱ 部別予算概要 482 ページ
------------	------------------

市内にはUR都市機構と東京都住宅供給公社が建設し供給した 22,000 戸以上の団地があります。その供給戸数は東京都市部で最も多く、町田市人口の約 10%、およそ 40,000 人が居住しています。

これらの団地の多くが 1960～70 年代に建設され老朽化も進み、また現在の居住ニーズに合わず、住居としての魅力が低下しており、周辺地域を含めたまちづくりの課題となっています。

そこで、「まちだ未来づくりプラン」における「未来づくりプロジェクト」の一つとして、団地の魅力の向上に取り組み、団地を中心とするまちの活性化を目指すため「団地再生に向けたプロジェクト」を開始し、大規模団地の再生のための検討を行い、2013 年 3 月に団地再生基本方針を策定しました。

基本方針で示された課題に対応し、住宅都市としての町田市の魅力向上を図るため、居住者及び地域周辺住民と、団地を含めた周辺地域の特性や魅力を確認し、当該団地の特性に応じた「団地再生」について検討し、団地を中心とするまちの活性化を目指します。

【事業の内容】

2013～2015 年度に実施した「鶴川団地の団地再生に向けた地域検討会」の検討手法を参考に、新たな団地において、自分たちの暮らすまちの活性化について考える機会を提供するため、ワークショップ等を実施します。

また、再生方針を策定した木曽山崎団地地区や鶴川団地地区においても、地域住民がプランを実施するために必要な支援を行います。

【鶴川団地】
夏祭りの様子
(フォトコンテスト作品)

【鶴川団地】
夏祭りでの団地アンケートの様子

【事業費】
団地再生支援委託料 2,916 千円

問い合わせ先	都市づくり部 住宅課長 池ノ内	電話	724-4269
--------	-----------------	----	----------

件 名		北部丘陵整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
34,165		0	2,945	0	0	31,220
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 380 ページ		
町田市北部丘陵活性化計画に基づき、「人と人が育む、いきいきとした町田ならではの里山」の実現に向けて、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。 2016 年度は、地域の農業環境や市有農地の利用促進を図るための整備工事や里山環境の維持保全整備等を実施します。また実施事業を明確にするため、「（仮称）町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を策定し、地域の価値・魅力を活かしたまちづくりを進めます。						
【事業の内容】						
「（仮称）町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」作成委託 里山環境の保全、山林及び農地を観光資源として活用する等、具体的な実施事業を明確にするため「（仮称）町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を策定します。 ■計画期間：2017 年度から 2020 年度までの 4 年間						
源流域・奈良ばい維持保全整備委託 里山環境の維持保全を図るため、散策路の整備や草刈、竹伐採等を実施します。 ■事業箇所及び規模：小野路町字奈良ばい（奈良ばい谷戸） 約 1.5ha 上小山田町（鶴見川源流保水の森） 約 3.6ha						
農道整備工事 地域の営農環境向上を図るため、農道整備工事を実施します。 ■事業箇所：小野路町字奈良ばい ■事業規模：施工延長 約 190m（施工幅員 約 1.8m） ■営農環境向上面積：約 1ha（市有地約 0.2ha 含む）						
農地利用促進整備工事 荒廃している農地について、農地あっせんするための整備を実施します。 ■事業箇所及び規模：小野路町字奈良ばい 約 1,700 m² 下小山田町字東谷 約 4,000 m²						
【主な事業費】						
「（仮称）町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」作成委託料				7,000 千円		
源流域・奈良ばい維持保全整備委託料				10,000 千円		
農道整備工事費				3,960 千円		
農地利用促進整備工事費				6,644 千円		
【主な特定財源】						
環境政策推進区市町村補助金（都 1/2）				2,945 千円		

件 名		地球温暖化防止対策事業												
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
11,667		2,020	2,020	0	1,000	6,627								
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 400 ページ										
＜自然エネルギー利用促進＞														
地球温暖化防止対策の一つとして、新5ヵ年計画、及び第二次町田市環境マスタープランの重点事業として掲げている自然エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムをはじめとする自然エネルギー利用機器等の設置補助を行います。														
＜水素エネルギーの普及・啓発活動の実施＞														
水素エネルギーは、利用段階において CO2 の排出がないため、環境負荷を減らすことができ、地球温暖化対策として有効なものとなっております。国や東京都においては、水素社会の実現に向けた取組みがはじまっており、特に東京都では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での活用（輸送手段、選手村での利用等）を目指し、それ以降も拡大を図れるように目標を設定しています。町田市においても庁用車として燃料電池自動車を購入し、市民に対して水素エネルギーの普及・啓発活動を実施していく予定です。														
【事業の内容】														
＜自然エネルギー利用促進＞														
○市内の住宅に対象機器を設置、または機器を設置した住宅を購入した個人に設置費用の一部を補助します。														
<table><tr><th>補助対象機器</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>太陽光発電システム＜居住部分※1＞</td><td>1kWあたり1万円/上限2.5万円</td></tr><tr><td>太陽光発電システム＜共同住宅の共用部分※2＞</td><td>1kWあたり1万円/上限4万円</td></tr><tr><td>太陽熱利用システム</td><td>定額1万円</td></tr></table>							補助対象機器	補助金額	太陽光発電システム＜居住部分※1＞	1kWあたり1万円/上限2.5万円	太陽光発電システム＜共同住宅の共用部分※2＞	1kWあたり1万円/上限4万円	太陽熱利用システム	定額1万円
補助対象機器	補助金額													
太陽光発電システム＜居住部分※1＞	1kWあたり1万円/上限2.5万円													
太陽光発電システム＜共同住宅の共用部分※2＞	1kWあたり1万円/上限4万円													
太陽熱利用システム	定額1万円													
※1・・・戸建住宅、併用住宅、マンション（分譲・賃貸）、アパートの居住部分														
※2・・・マンション（分譲・賃貸）、アパートの共用部分														
＜水素エネルギーの普及・啓発活動の実施＞														
○燃料電池自動車を購入し、庁用車として使用したり、イベント等で展示するなど市民にPRを行います。														
○水素エネルギーの講演会などを開催し、市民に対して水素エネルギーの活用についての普及を図ります。														
【主な事業費】														
太陽エネルギー利用機器等補助金 3,500 千円														
燃料電池自動車購入費 7,897 千円														
講師謝礼 118 千円														
【特定財源】														
クリーンエネルギー自動車等導入費補助金（国） 2,020 千円														
区市町村燃料電池自動車導入促進事業費補助金（都） 2,020 千円														
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成金 1,000 千円														
問い合わせ先	環境資源部 環境・自然共生課長 板橋			電話	724-4391									

件 名		(仮称) 戦没者合同慰霊塔会館整備事業				
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,997		0	0	0	0	5,997
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 226 ページ		
町田市は、戦没者、戦争犠牲者を慰霊するため、1971 年、忠生三丁目に戦没者合同慰霊塔を建立し、戦没者及び戦争犠牲者の御霊を合祭するとともに、同地に市内 5 地区の慰霊碑を移設しました。近隣市に比べ空襲等の被害が少なかった町田市においては、戦争の悲惨さに触れることのできる貴重な場所となっています。しかし近年、訪れる方々の高齢化に伴い、駐車場の整備や休憩施設の設置の必要性が生じてきました。 また、1995 年に戦時資料の収集を開始し、現在 788 点の戦時資料を保管しています。戦後 70 年が過ぎ、戦争体験者が減っていく中、戦争の悲惨さを語り継いでいくために、収集した戦時資料の有効活用が課題となっています。 そこで、これらの課題を解決するための拠点を整備します。						
【事業の内容】						
戦争の悲惨さ、平和の尊さを将来に伝えるための拠点を整備するため、戦没者合同慰霊塔の近くに(仮称)戦没者合同慰霊塔会館を建設します。2016 年度は、施設の設計を行います。						
【施設の概要(予定)】						
建設予定地	町田市忠生三丁目 22 番 3(現: 忠生市民センター臨時駐車場)					
構造	軽量鉄骨造平屋建					
規模	床面積約 90 m ² 展示室兼休憩室、倉庫、事務スペース等を整備					
【今後のスケジュール】						
2016 年度: (仮称)戦没者合同慰霊塔会館基本・実施設計						
2017 年度: 建設工事・オープン						
【事業費】						
(仮称)戦没者合同慰霊塔会館設計委託料 5,997 千円						
						
戦没者合同慰霊塔						
問い合わせ先	地域福祉部 福祉総務課長 平林			電話	724-2133	

件 名		出産・子育てしっかりサポート事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
76,903		7,046	69,814	0	43	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 312 ページ		
出産・子育てに関する不安を軽減するとともに、各家庭の状況に応じた支援を行うため、現在行っている母子保健事業や子育て支援事業では補えきれなかった「妊娠期」の相談・支援体制を強化します。						
これにより、市内全ての子育て世帯に対し、妊娠期からの切れ目のないサポートを実現します。						
【事業の内容】						
① 市内在住の全ての妊婦を対象として面接を行い、心身の状態や家庭の状況、子育て支援に関するニーズ等を把握します。						
② 妊娠期から家庭と行政との関係を作るきっかけとして、また、社会（市）が出産・子育てを応援するというメッセージとして、面接終了後に出産・子育て用品を購入できる「商品券（10,000 円分）」を配付します。						
③ 心身の不調や育児不安があることなどから手厚い支援を要する方に対しては、支援計画書を作成し、新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）や定期健診等にてその効果検証を行います。						
■実施方法						
妊娠届提出先	市庁舎・健康福祉会館・保健所中町庁舎			各市民センター・駅前連絡所		
面接時期	妊娠届提出時に面接			後日面接		
面接場所	市庁舎・健康福祉会館・保健所中町庁舎・各市民センター ※市民センターは、あらかじめ面接日を設定（月1～3回）					
商品券配付時期	面接終了後、出産・子育て用品が購入できる「商品券」を配付 ※対象者：2016年4月1日以降面接実施者（既に妊娠届を提出した場合も含む）					
備考	面接は妊婦本人が対象（配偶者のみは不可）					
【主な事業費】						
出産・子育て応援商品券購入費		55,000 千円				
面接者人件費（看護師・保健師等）		21,614 千円				
【主な特定財源】						
子ども・子育て支援交付金（国 1/3）		7,046 千円				
子ども・子育て支援交付金（都 1/3）		7,046 千円				
出産・子育て応援事業費補助金（都 10/10）		62,768 千円				
問い合わせ先	保健所 保健予防課長 笠松			電話	725-5422	

件 名		臨時福祉給付金等支給事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
497,350		497,345	0	0	5	0
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 229 ページ		
①『臨時福祉給付金（簡素な給付措置）』 2014 年 4 月から消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、所得が一定以下の方への負担の影響を軽減するため、臨時福祉給付金を支給します。 ②『年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）』 アベノミクスの成果を均等に行き渡らせる観点から、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金受給者に年金生活者等支援臨時福祉給付金を支給します。						
【事業の内容】						
①『臨時福祉給付金（簡素な給付措置）』 対 象 者：2016 年 1 月 1 日時点で町田市に住民票があり、2016 年度の市民税が課税されていない方。 ただし、市民税が課税されている方の扶養親族等、生活保護等の受給者は対象外です。 支給金額：1 人につき 3,000 円（1 回限り） 対象者数（推定）：65,000 人 ②『年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）』 対 象 者：2016 年度の臨時福祉給付金（簡素な給付措置）の対象者のうち障害・遺族基礎年金の受給者。ただし、高齢年金生活者等支援臨時福祉給付金の受給者は対象外です。 支給金額：1 人につき 30,000 円（1 回限り） 対象者数（推定）：5,000 人						
【事業実施時期】						
2016 年 9 月末予定 ※①と②は同時に支給します。						
【主な事業費】						
臨時福祉給付金 195,000 千円 年金生活者等臨時福祉給付金 150,000 千円 臨時福祉給付金等業務委託料 131,321 千円						
【主な特定財源】						
臨時福祉給付金等事業費補助金（国 10/10） 497,345 千円						
問い合わせ先		地域福祉部 福祉総務課長 平林			電話	724-4431

件 名	外国人観光客等受入推進事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,000		0	0	0	1,500	1,500
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 382 ページ		
2015 年の訪日外国人旅行者数(速報値)は過去最高の 1974 万人を記録しました。国・地域別で見ると、中国(499 万人)、韓国(400 万人)、台湾(368 万人)、香港(152 万人)、アメリカ(103 万人)が上位を占めています。 また、2015 年の訪日外国人旅行消費額(速報値)も過去最高の 3 兆 4,771 億円を記録しました。国・地域別で見ると、中国(1 兆 4,174 億円)、台湾(5,207 億円)、韓国(3,008 億円)、香港(2,627 億円)、アメリカ(1,814 億円)が上位を占めています。 町田市においては、2015 年になってから中国人団体客を中心に外国人宿泊客が急増していますが、それを消費拡大に繋げていくことが課題となっています。 訪日外国人旅行者数および消費額は今後も増加が続くことが予想されており、ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることで、さらに多くの外国人観光客が来日することが見込まれます。 こうした状況の中、町田市に多くの外国人観光客に来ていただくことで地域経済の活性化を図るため、ハード、ソフト両面で受け入れ環境を整備する必要があります。						
【事業の内容】						
観光マップの英語版や町田駅周辺まちなか案内マップの英語版、中国語版、韓国語版の作成、観光案内ホームページの多言語化対応に取り組めます。 また、町田駅周辺の無料 Wi-Fi 環境の整備に向けた検討を行います。						
【事業費】						
外国人観光客等受入環境整備補助金 3,000 千円						
【特定財源】						
区市町村観光インフラ整備支援補助金 1,500 千円						
						
問い合わせ先	経済観光部 産業観光課長 井上			電話	724-2944	

件 名	公共施設等マネジメント事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,356		0	0	0	0	10,356

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 104 ページ

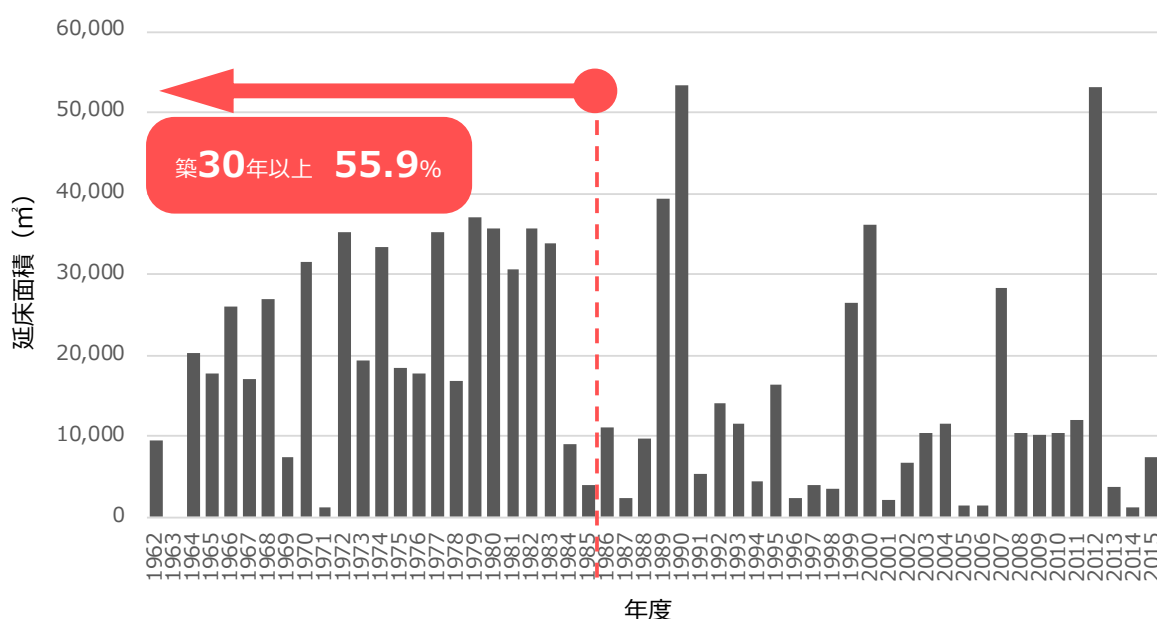
高度経済成長期の急激な人口の増加や社会環境の変化に対応するため、1960 年代後半から 80 年代前半にかけて学校教育施設を中心に多くの公共施設を整備してきました。今後、大量の施設が建替えの時期を迎えることから、膨大な費用がかかることが見込まれています。一方、高齢者の増加、生産年齢人口の減少により財源不足が一層深刻化していくために、全ての施設を建替え、維持していくことは困難な状況にあります。

これらの課題に対応するため、2015 年度に、今後の公共施設等のあり方に関する基本方針を示した「町田市公共施設等総合管理計画」（基本計画）を策定いたしました。この計画で示した 40 年間での削減目標を達成するため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を実施するための実行計画を策定いたします。

【事業の内容】

実行計画の期間は 10 年程度とし、その間に再編等に着手する具体的な施設の選定・検討を行います。策定は、2016 年、2017 年の 2 カ年をかけて行います。

また、老朽化の進行等により早急に対応が必要な施設については、優先して再編の検討を行います。



建築年別床面積

【主な事業費】

(仮称)公共施設等総合管理計画(実行計画)策定支援委託料 9,720 千円

問い合わせ先	政策経営部 企画政策課 政策研究担当課長 石坂	電話	724-2103
--------	-------------------------	----	----------

件 名	境川クリーンセンター改修事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
215,670		11,590	25,000	147,300	0	31,780

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要 408 ページ

境川クリーンセンターは、1961 年にし尿処理施設として開設しました。その後、下水道整備に伴い 1997 年に処理機能を停止して、現在はいし尿等（浄化槽汚泥を含む）を下水道に希釈放流する「し尿等投入施設」になっております。

町田市では新 5 カ年計画に基づき、境川クリーンセンター跡地の有効活用を目的とした検討を行い、跡地を 3 つのゾーン（施設ゾーン、広場ゾーン、管理棟ゾーン）として整備を進めて行くことになりました。

2015 年度は、施設ゾーンに、し尿等を下水道放流するための施設を整備するため、境川クリーンセンター改修工事基本設計等の業務を行いました。

2016 年度は都市計画変更を行い、事業認可を受けた後、契約などの境川クリーンセンター改修工事に向けた準備を行います。

【事業の内容】

所在地	町田市木曽東 2 丁目 1 番 1 号
工事面積	約 3,000 ㎡
規模	建築面積約 550 ㎡地下 1 階地上 2 階予定
工事期間	3 カ年（2019 年度稼働予定）

【主な事業費】

境川クリーンセンター改修工事 200,000 千円
（2016～2018 年度債務負担行為事業 総事業費 1,116,000 千円）
境川クリーンセンター改修工事監理委託 0 千円
（2016～2018 年度債務負担行為事業 総事業費 26,118 千円）

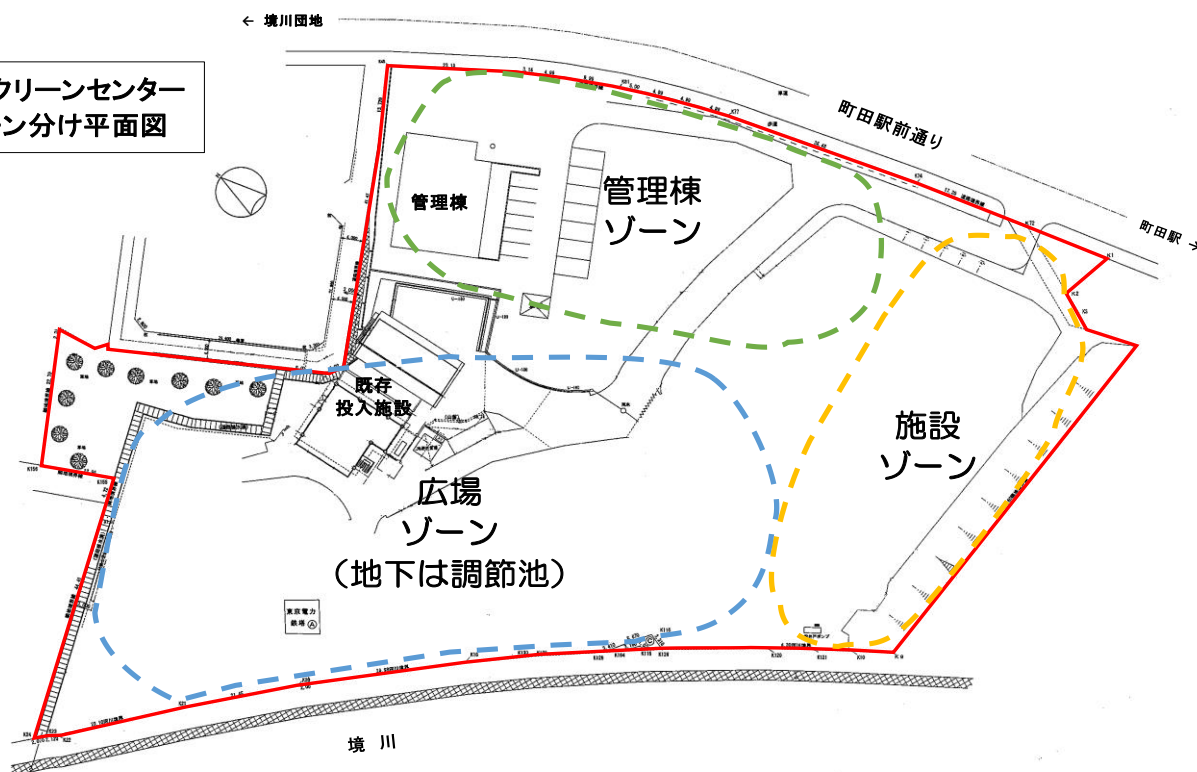
【主な特定財源】

循環型社会形成推進交付金（国 1/3） 8,543 千円
地籍整備推進調査費補助金（国 1/2） 3,047 千円
市町村総合交付金（都） 25,000 千円
廃棄物処理施設整備事業債 147,300 千円

【スケジュール】

2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
・都市計画変更 ・施設改修工事		→ ・既存投入施設解体工事設計	・施設稼働 ・既存投入施設解体工事

境川クリーンセンター
ゾーン分け平面図



問い合わせ先

環境資源部 資源循環課長 窪倉

電話

797-9155

件 名	多摩境駅エレベーター設置事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
81,000		7,425	22,500	39,100	0	11,975
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 440 ページ		
京王相模原線多摩境駅周辺地区においては、2013 年度にバリアフリー基本構想を策定し、エレベーター設置を整備事業として位置づけました。						
この基本構想に基づき、高齢者や障がい者、子ども、来訪者など、誰もが円滑に多摩境駅周辺を移動できるよう、駅前広場にエレベーターを設置します。						
【事業の内容】						
2016 年度にエレベーター設置工事を実施し、2017 年度からエレベーターの利用を開始します。						
						
【事業費】						
エレベーター設置工事費 78,300 千円						
工事監理委託料 2,700 千円						
		2016 年度	2017 年度			
		設置工事	利用開始			
【特定財源】						
防災・安全交付金(国) 7,425 千円						
地域福祉推進包括補助事業費補助金(都) 22,500 千円						
道路整備事業債 39,100 千円						
問い合わせ先	建設部 建設総務課長 遠藤			電話	724-1124	

件 名	小山田周辺まちづくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,400		0	0	0	0	5,400
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要 469 ページ		
2014 年 5 月 26 日、町田市と相模原市は、リニア中央新幹線の開業が予定されている 2027 年を目途に小田急多摩線延伸の実現を目指した取組を進めることに合意しました。 このことを契機として、小山田バス停留所付近を想定している新駅を中心として、小山田周辺のまちづくりの検討を進め、2016 年 3 月に地域の将来像を示すまちづくり構想を策定します。						
【事業の内容】						
2016 年度は、まちづくり構想を踏まえ、地域の方々との意見交換を行いながら、まちづくりの基本的な考え方を示すまちづくり整備方針の策定に向け、検討を行っていきます。 ○ 土地利用、都市機能の検討 ○ 交通施設、交通ネットワークの検討 ○ みどり・農・水辺・防災・景観などの形成方針の検討 ○ 事業実現性の検討						
						
2016 年度		2017 年度		2018 年度		
まちづくり整備方針 検討		まちづくり整備方針 策定		まちづくり整備計画 策定		
【事業費】						
小山田周辺まちづくり検討委託料 5,400 千円						
問い合わせ先	都市づくり部 都市政策課長 神蔵			電話	724-4248	